

山梨県がん統計

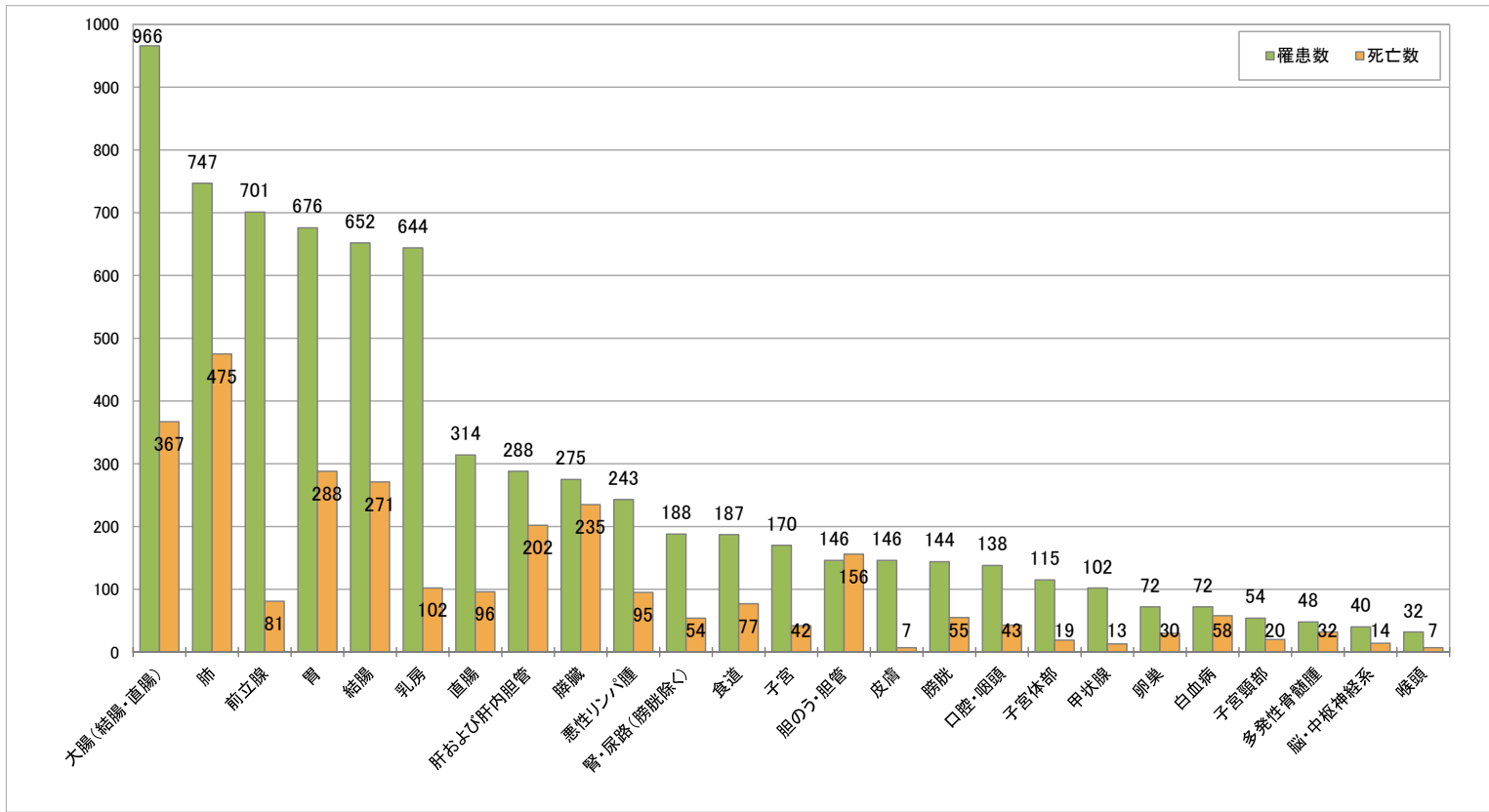
令和4年7月12日
山梨県がん対策推進協議会

令和4年7月1日 現在

目次

- ・罹患数と死亡数の比較 2
- ・がんによる死亡者数の年次推移 3
- ・75歳未満年齢調整死亡率の年次推移の全国との比較 4
 - ・男女別 5~6
 - ・部位別 7~13
- ・年齢調整罹患率の年次推移の全国との比較 14
 - ・男女別 15~16
 - ・部位別 17~25
- ・部位別5年相対生存率の全国との比較 26~28
- ・部位別5年相対生存率の推移 29~32
- ・がんの発見経緯と進展度の全国との比較 33
- ・がんの発見経緯別の進展度 34
- ・発見経緯の年次推移 35~44
- ・進展度別5年相対生存率の全国との比較 45
- ・がん検診受診率と精密検査受診率の全国との比較 46

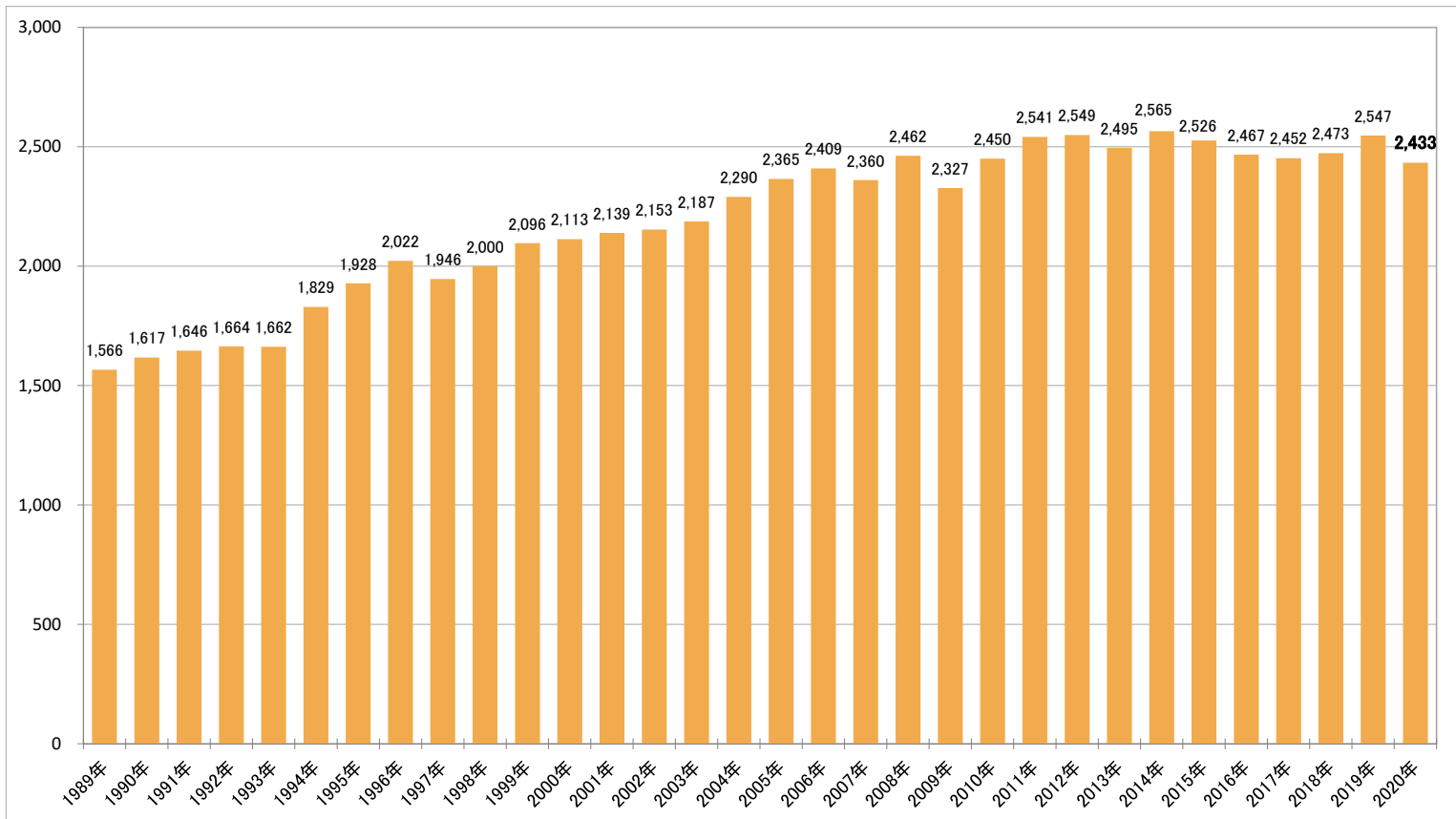
罹患数と死亡数の比較 (2019年) (人)



出典:全国がん登録都道府県標準集計表2019 (山梨県)

がんにかかった人の数(罹患数)は、大腸がんが最も多く、肺がん、胃がんと続いている。がんにより亡くなった人の数(死亡数)については、肺がんが最も多く、大腸がん、胃がんの順になっている。乳がんや前立腺がんのように罹患数に比べて死亡数が少なく、死亡原因になりにくいがんがある一方で、肝がんや膵臓がん、胆のうがんなど、罹患数と死亡数の差が小さいがんもあるということもわかる。

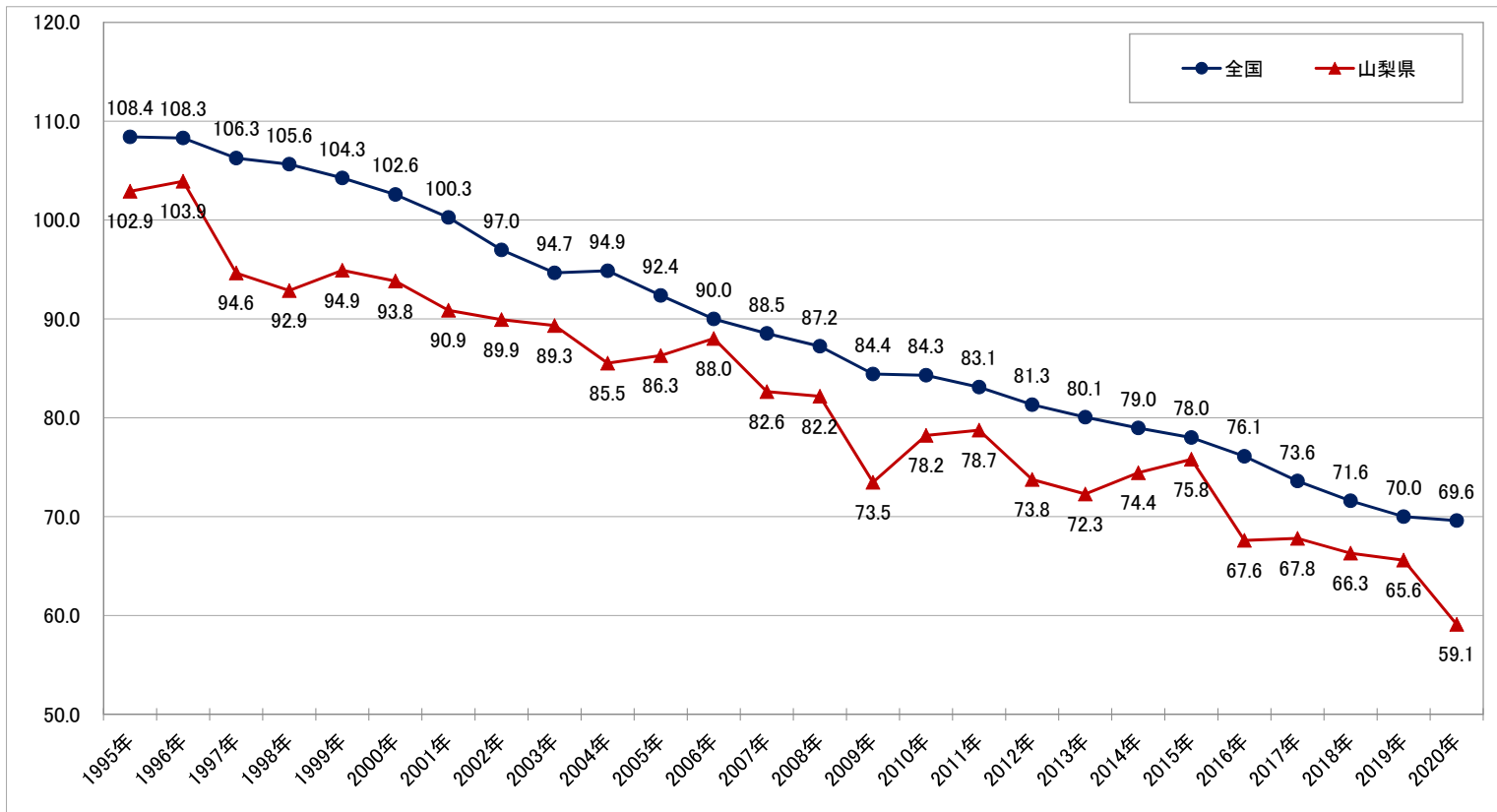
がんによる死亡者数の年次推移 (人)



出典:厚生労働省人口動態統計

がんによる死亡者数は、2008年ごろまでは増加傾向であったが、その後は毎年2500人前後で推移している。がんによる死亡は高齢者に多く、高齢化が進んでいるということを加味して考えると、次項の資料にあるようにがんによる死亡率が低下していることによるものと考えられる。

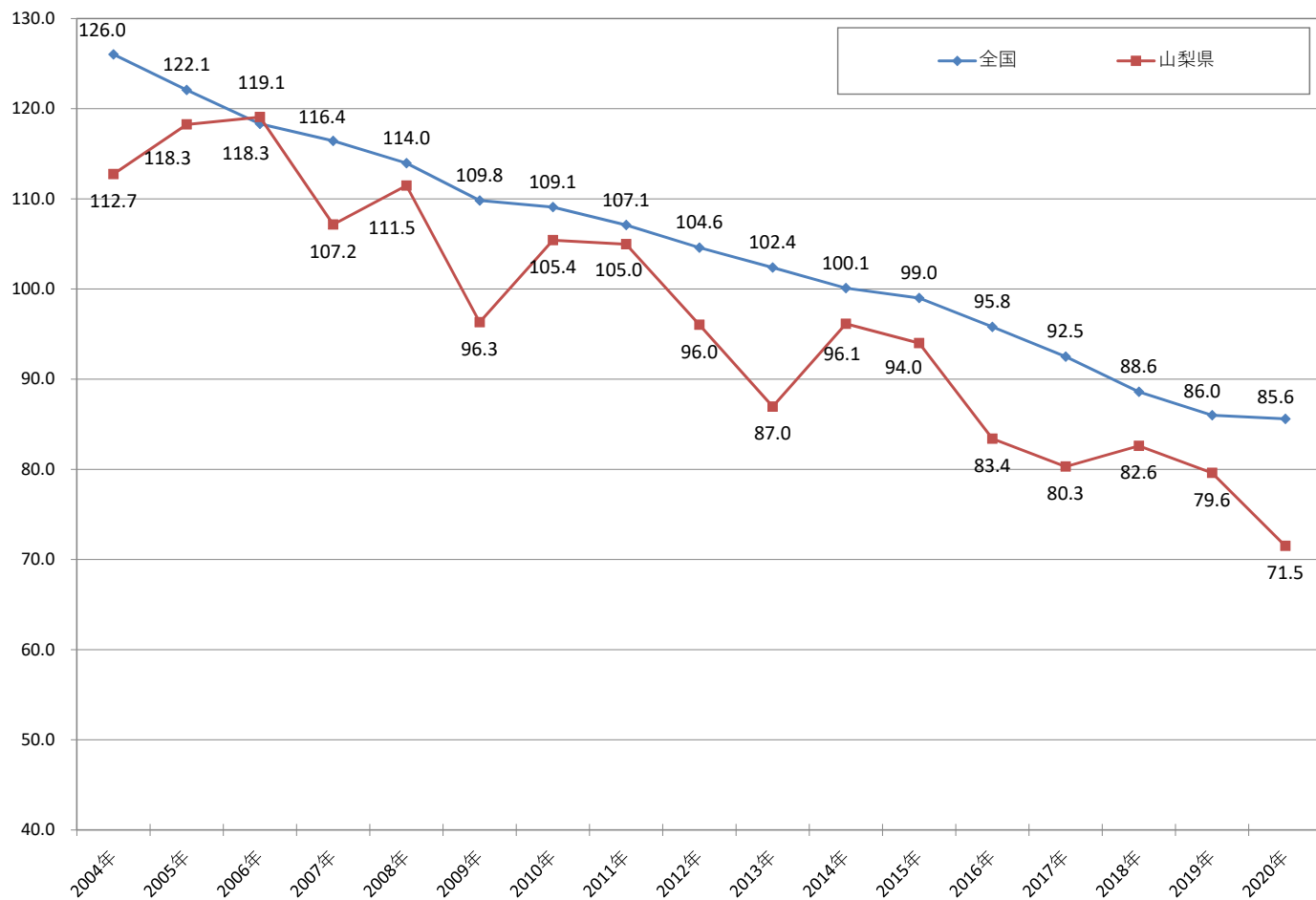
75歳未満年齢調整死亡率の年次推移の全国との比較(人口10万対)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

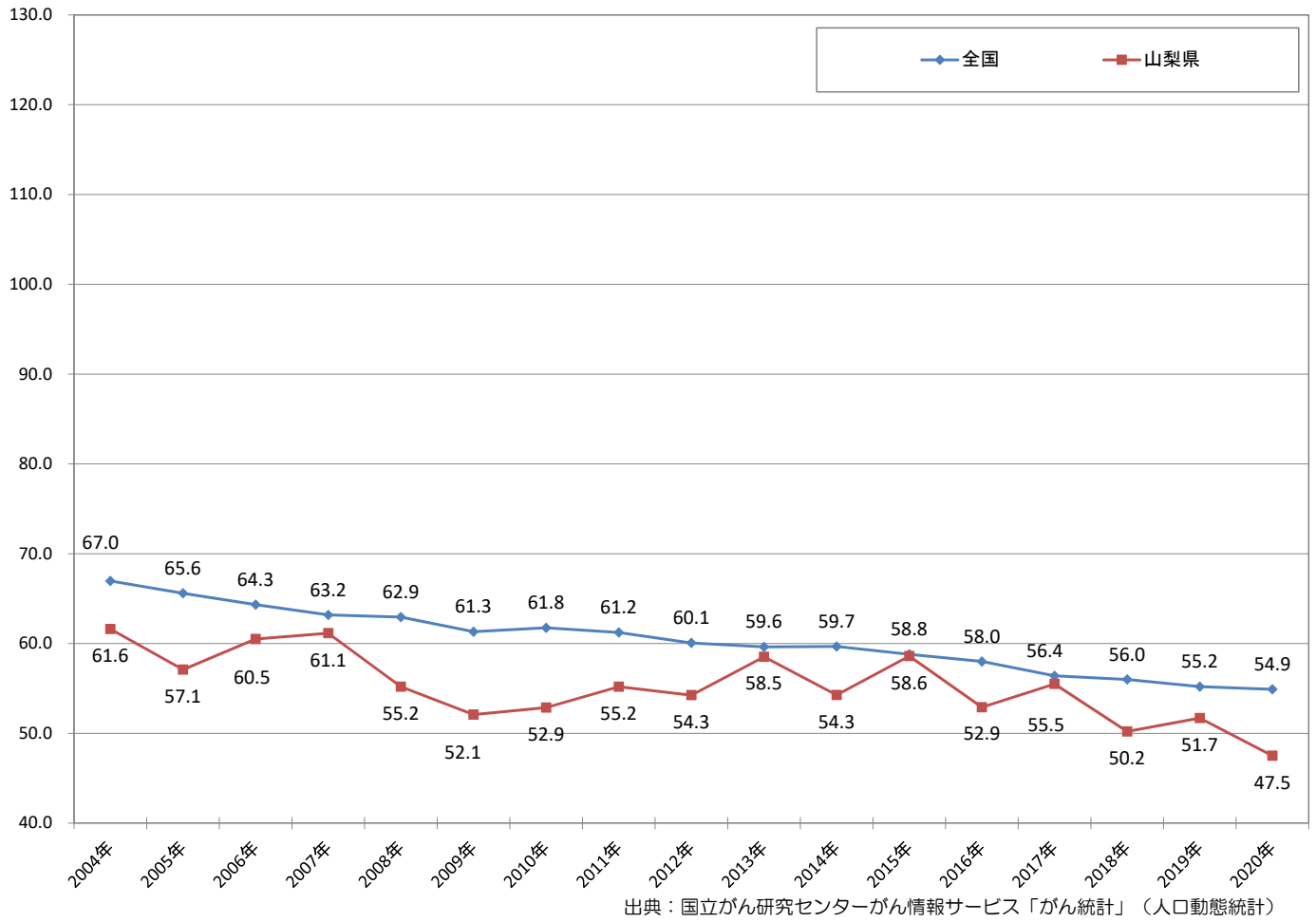
高齢化の影響を取り除いたがんによる死亡割合を示す指標である「75歳未満年齢調整死亡率」は、がん対策全体の指標となっており、全国は毎年着実に低下している。山梨県は、これを常に下回っておりがんにより亡くなる可能性が低い県と言える。人口規模が小さいことから、値にばらつきがあるものの全体としては低減傾向である。

75歳未満年齢調整死亡率（男性）（人口10万対）

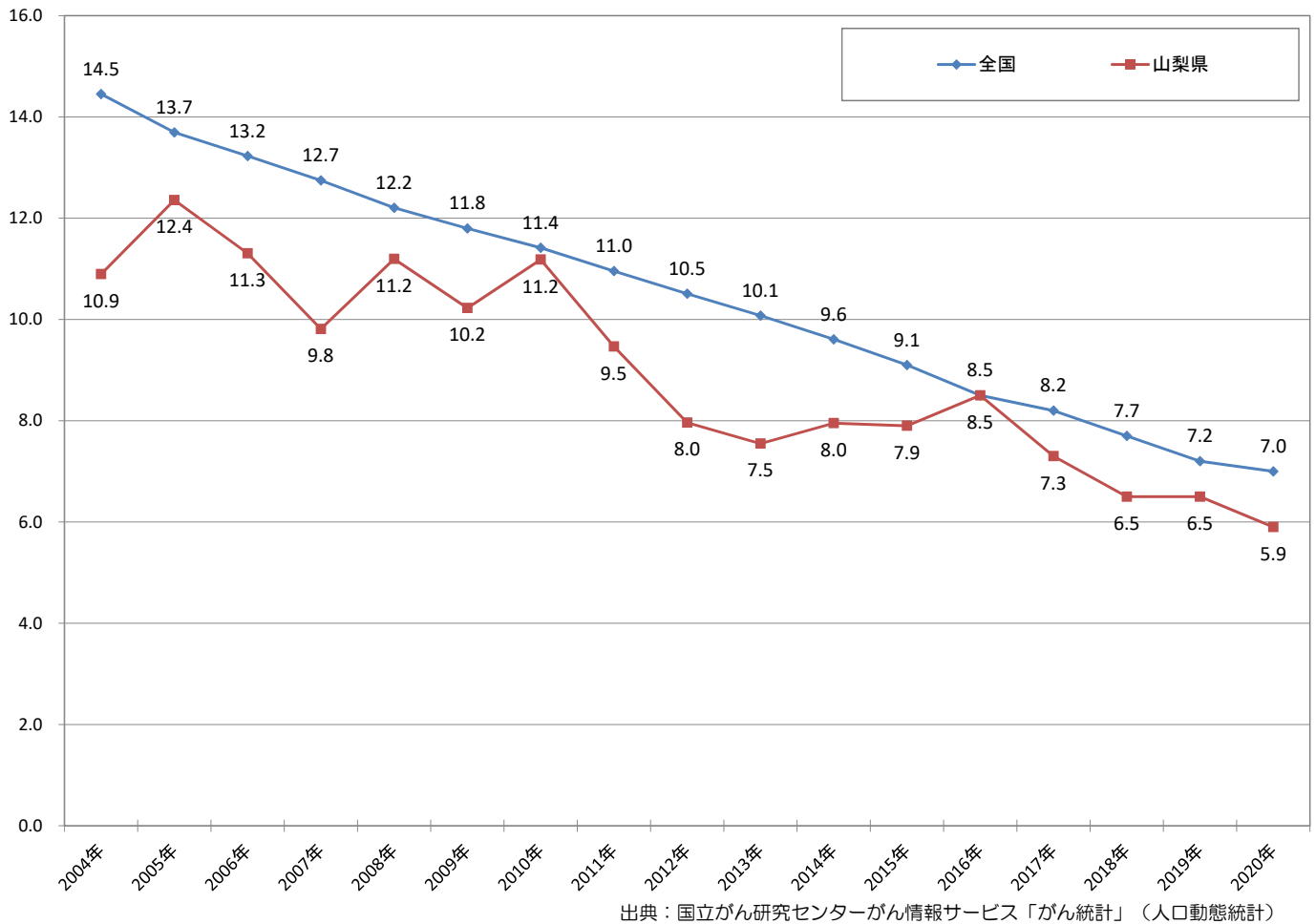


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

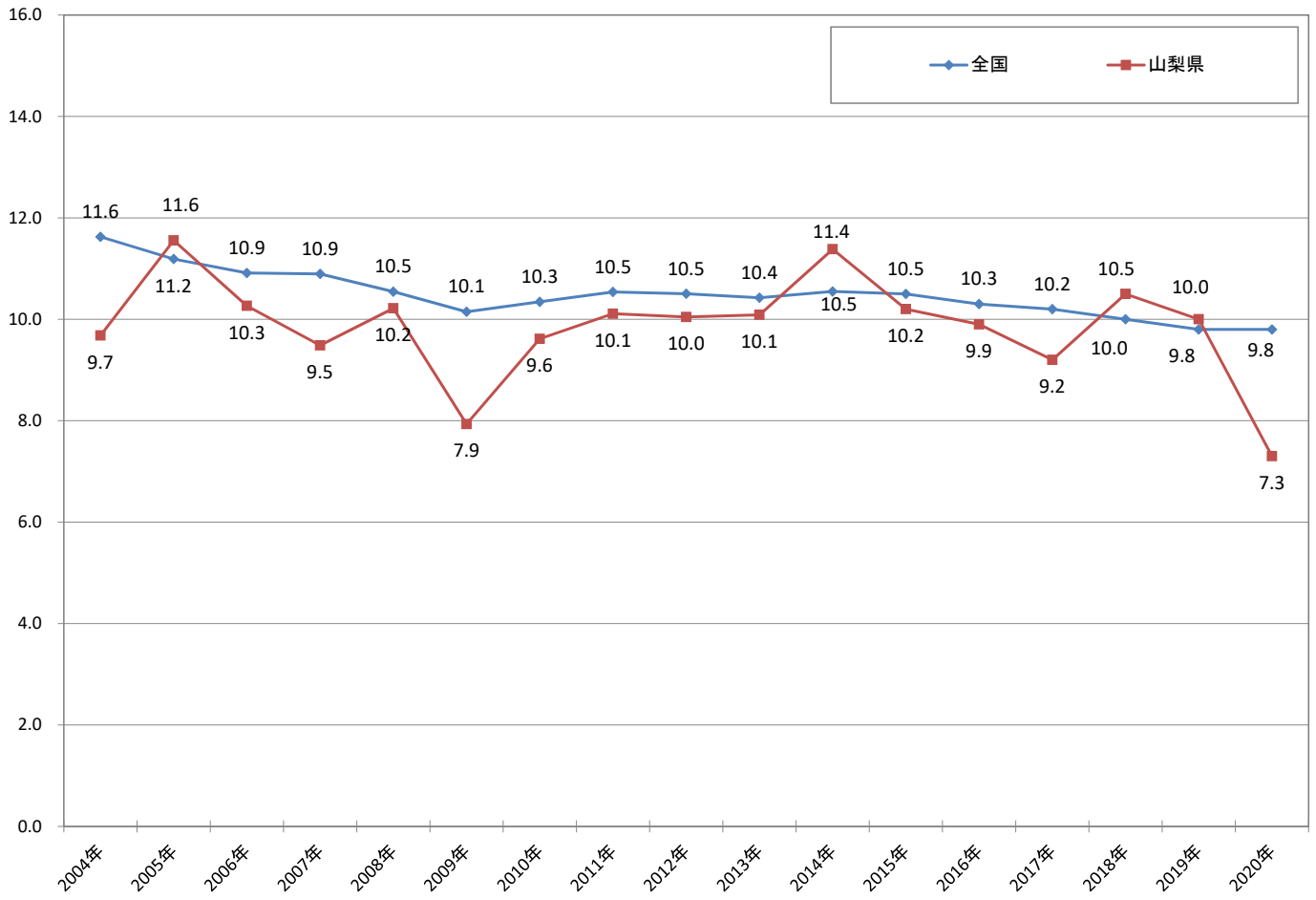
75歳未満年齢調整死亡率（女性）（人口10万対）



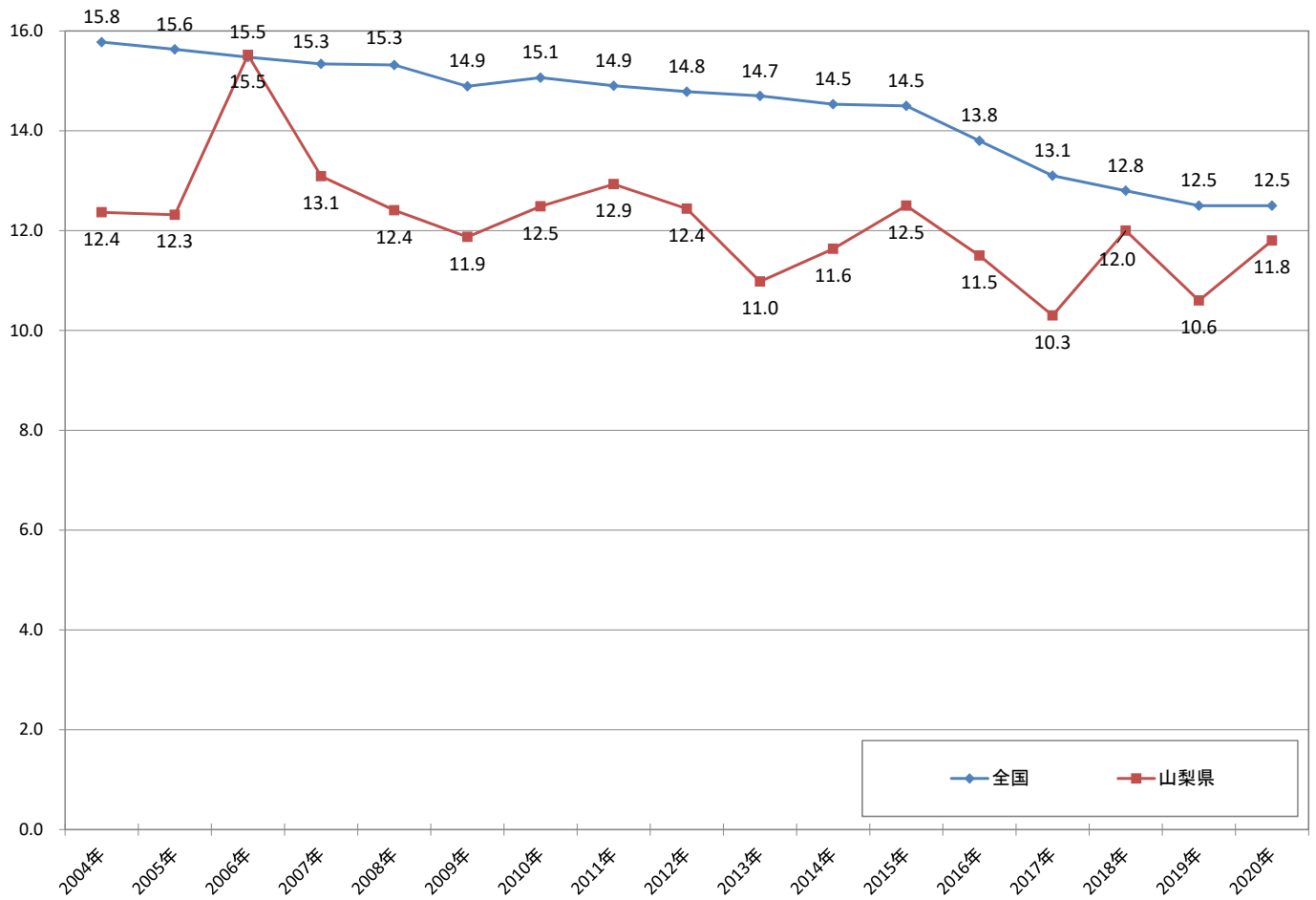
75歳未満年齢調整死亡率 胃（男女計）（人口10万対）



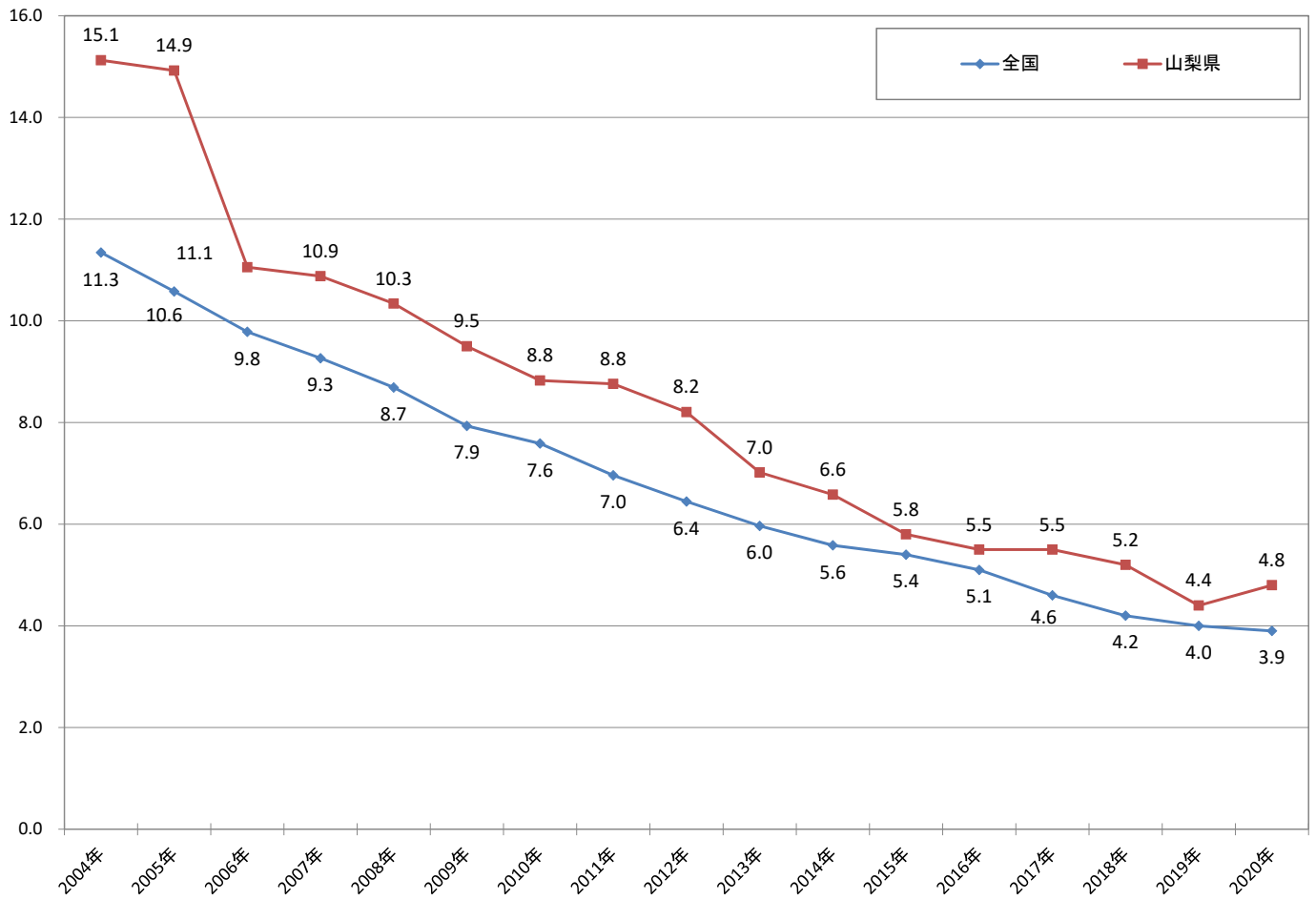
75歳未満年齢調整死亡率 大腸（男女計）（人口10万対）



75歳未満年齢調整死亡率 肺（男女計）（人口10万対）

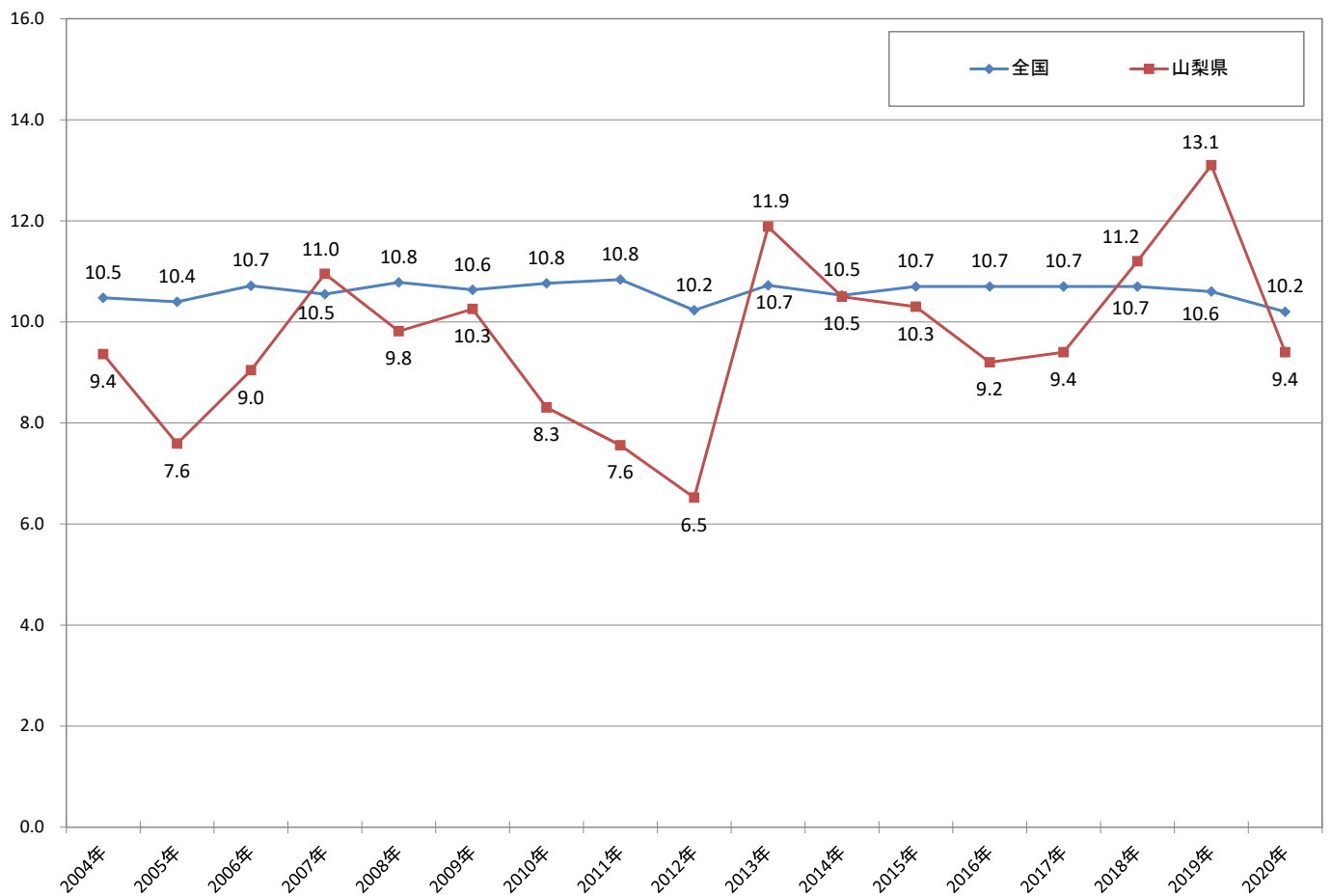


75歳未満年齢調整死亡率 肝（男女計）（人口10万対）



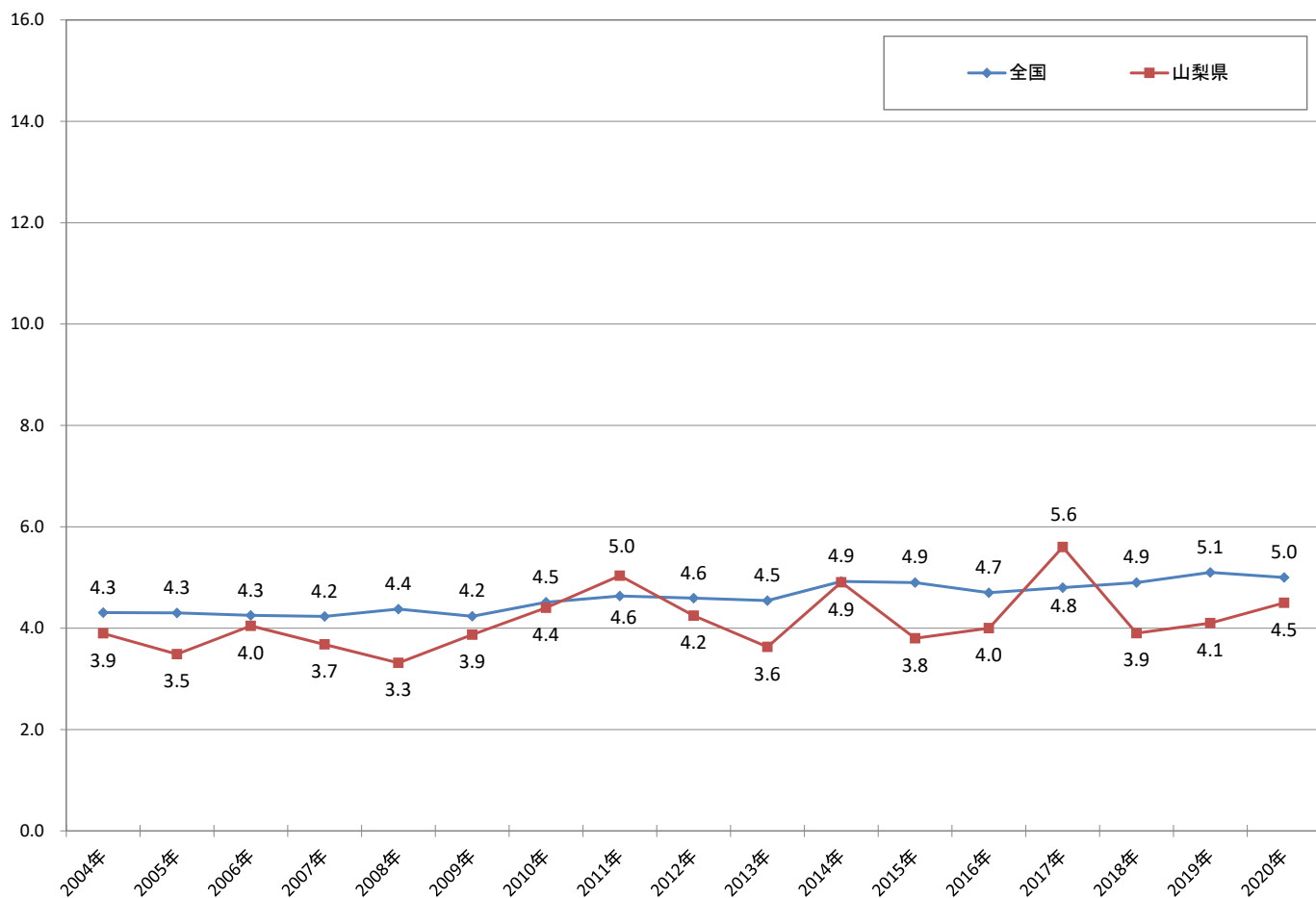
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

75歳未満年齢調整死亡率 乳房（女性）（人口10万対）



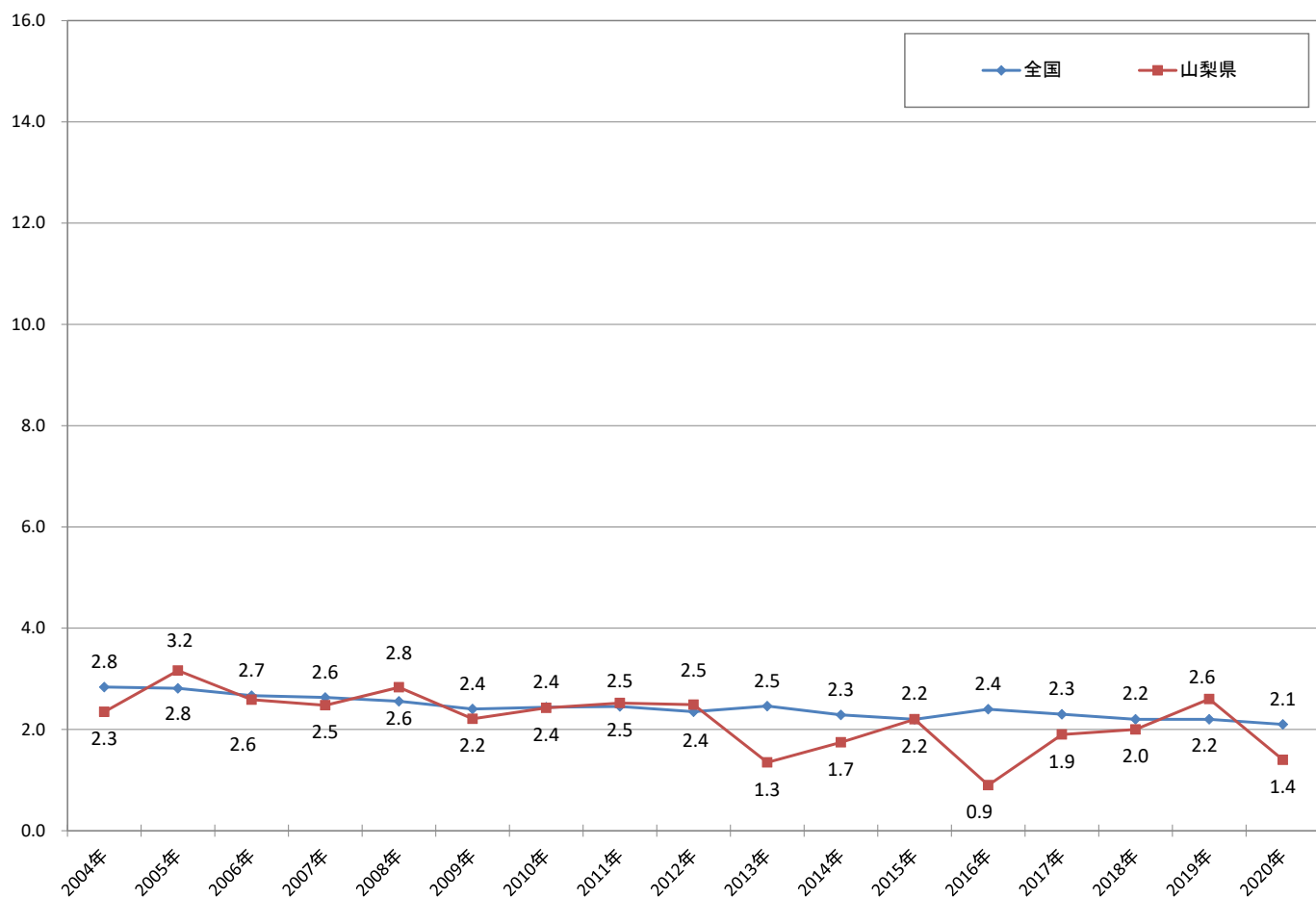
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

75歳未満年齢調整死亡率 子宮（女性）（人口10万対）



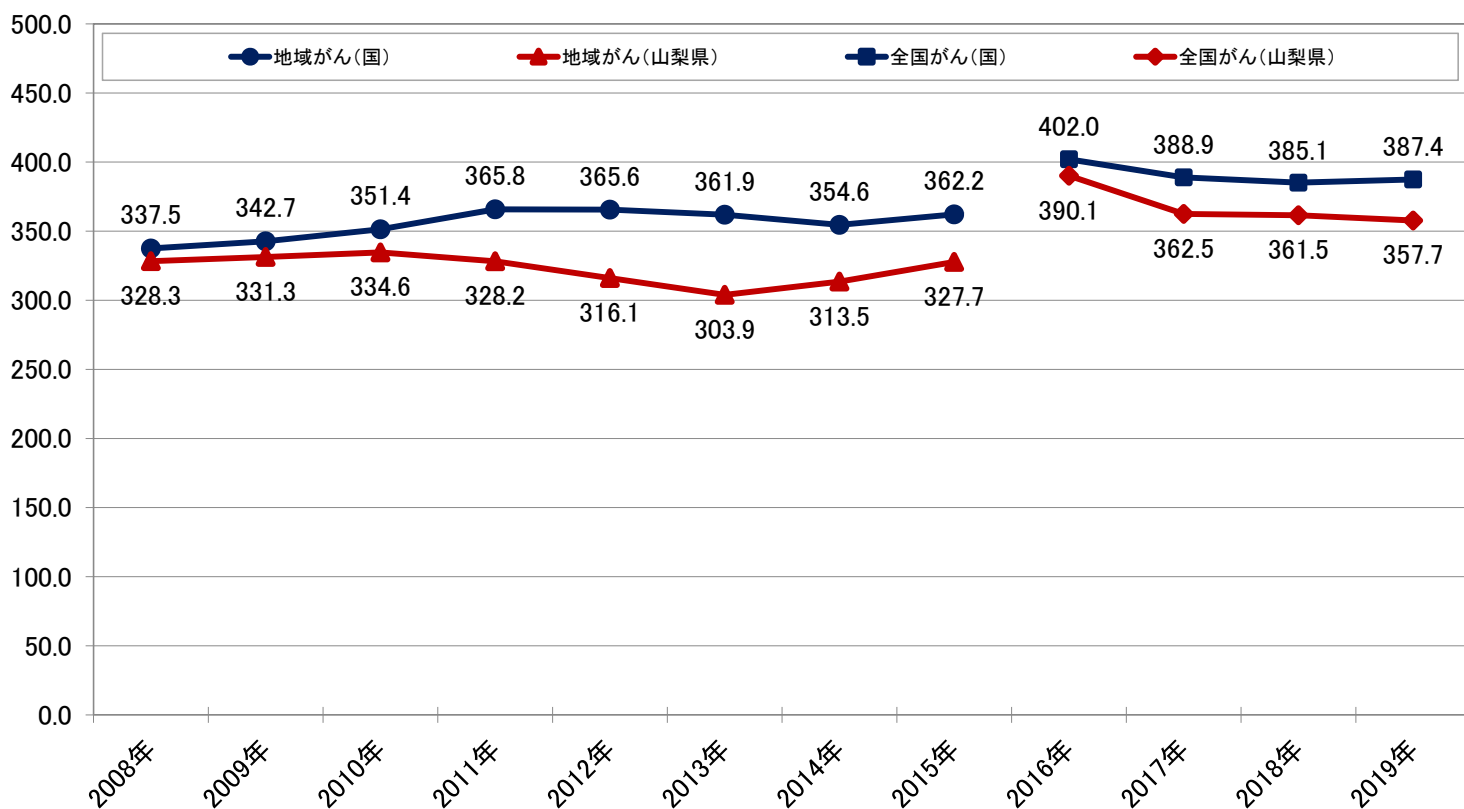
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

75歳未満年齢調整死亡率 前立腺（男性）（人口10万対）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

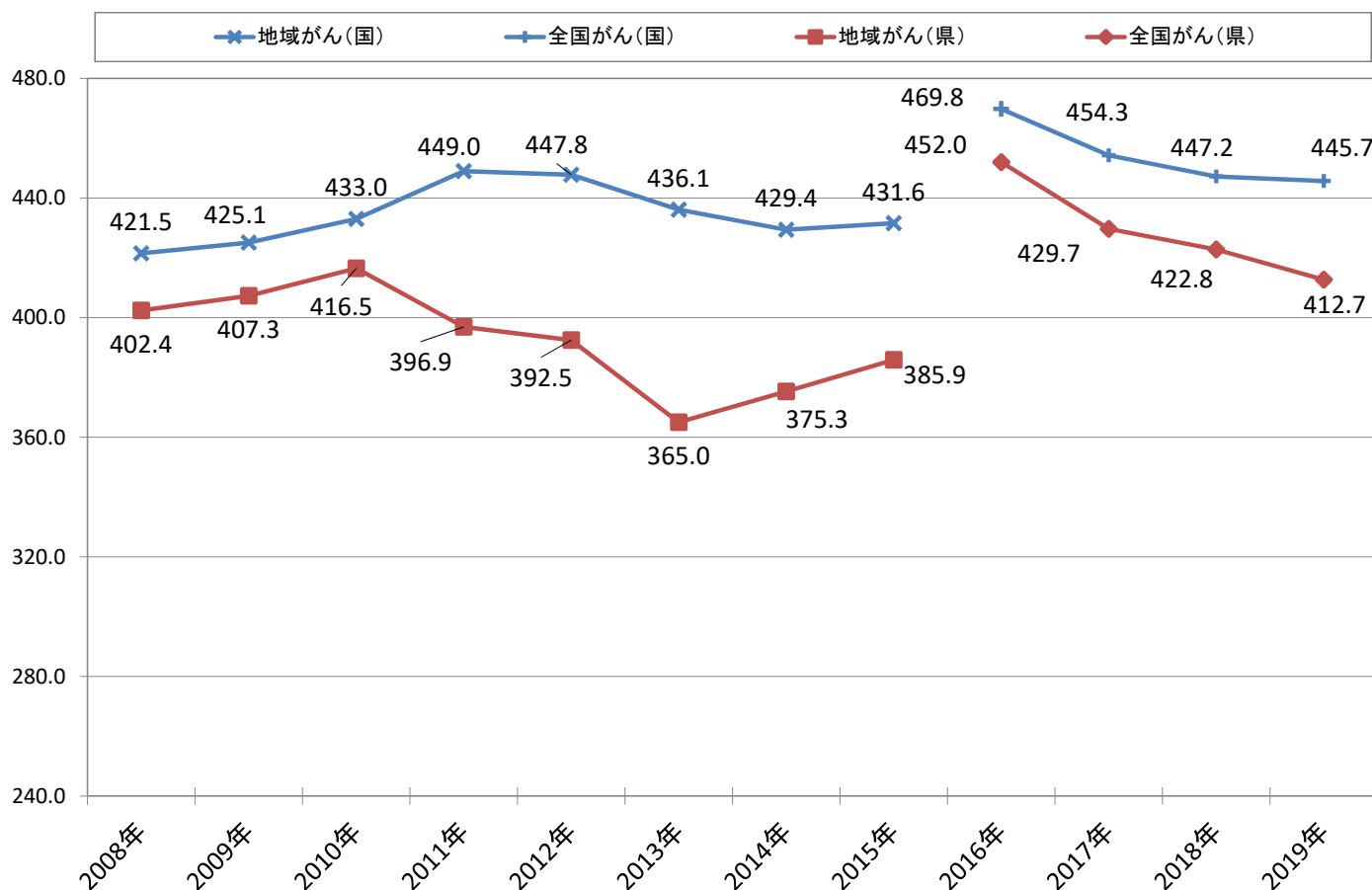
年齢調整罹患率の年次推移の全国との比較（人口10万対） （上皮内がんを除く）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん罹患モニタリング集計（MCIJ））、（全国がん登録）

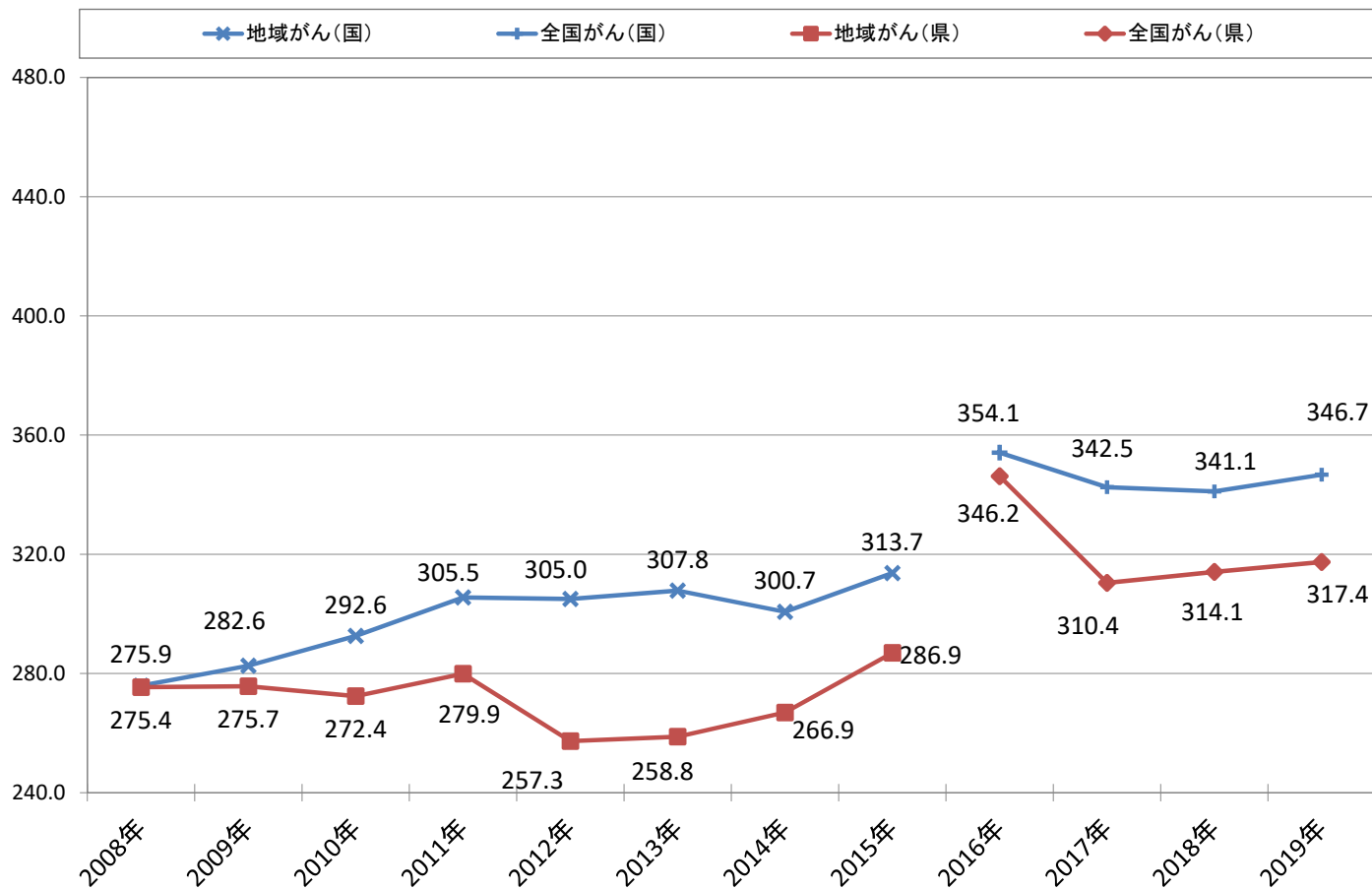
高齢化の影響を取り除いた、がんに罹る人の割合（年齢調整罹患率）は、がんの予防についての総合的な指標となる。山梨県においては、統計を取り始めた2008年以降、各年において全国を下回っている。（2016年がん登録制度に変更あり）

年齢調整罹患率 全部位（男性）（人口10万対）



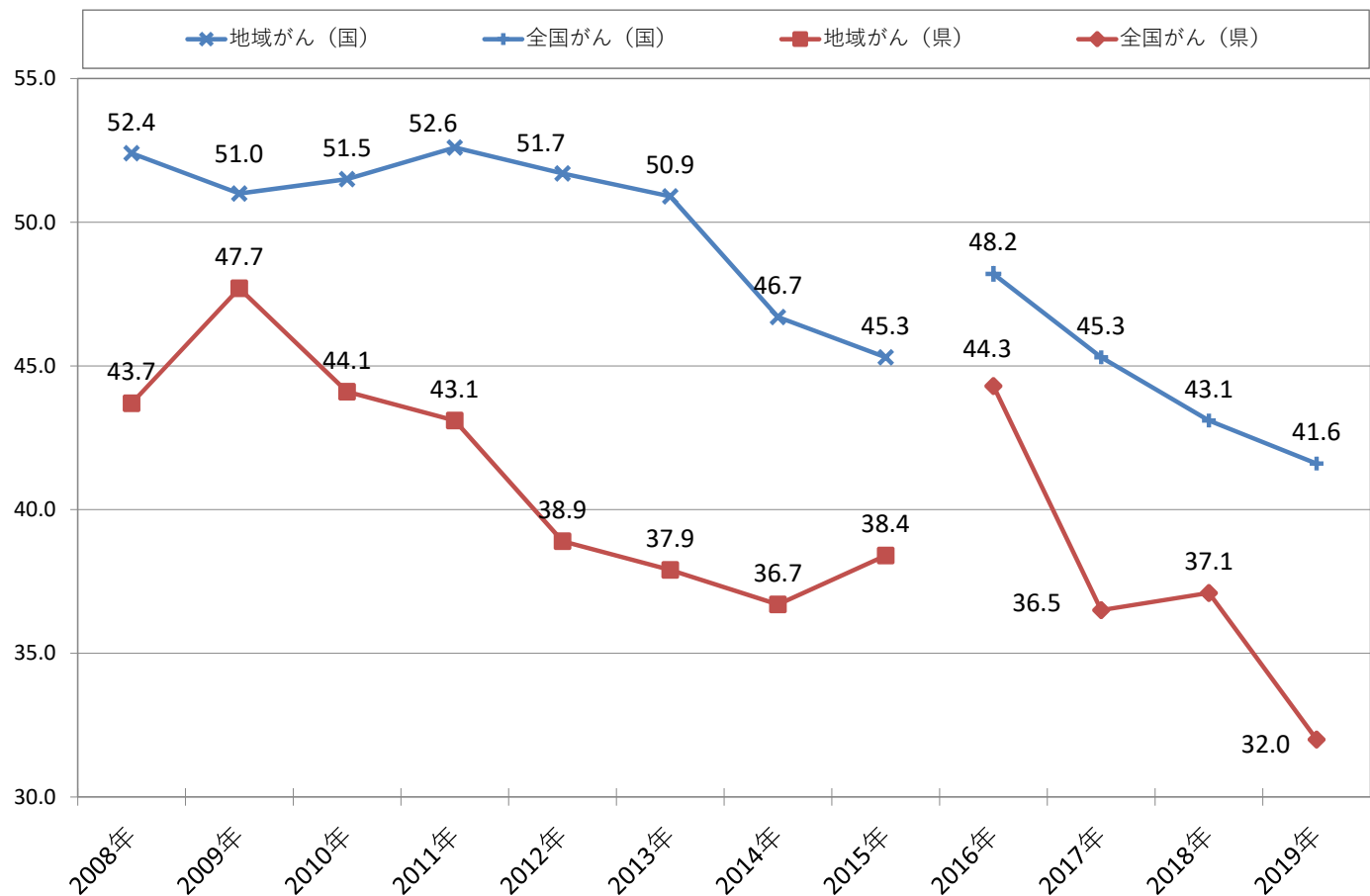
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

年齢調整罹患率 全部位（女性）（人口10万対）



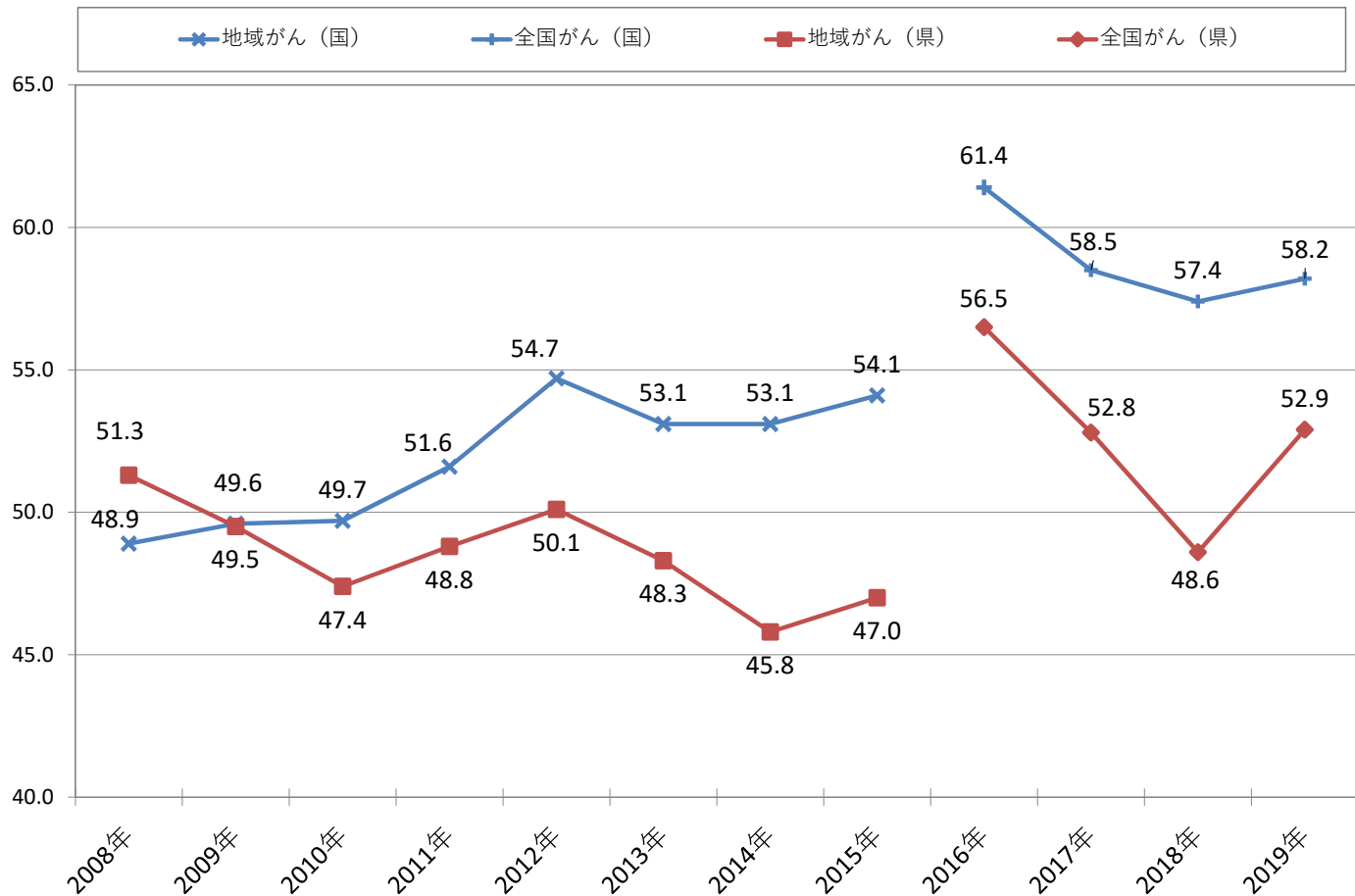
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

年齢調整罹患率 胃（男女計）（人口10万対）



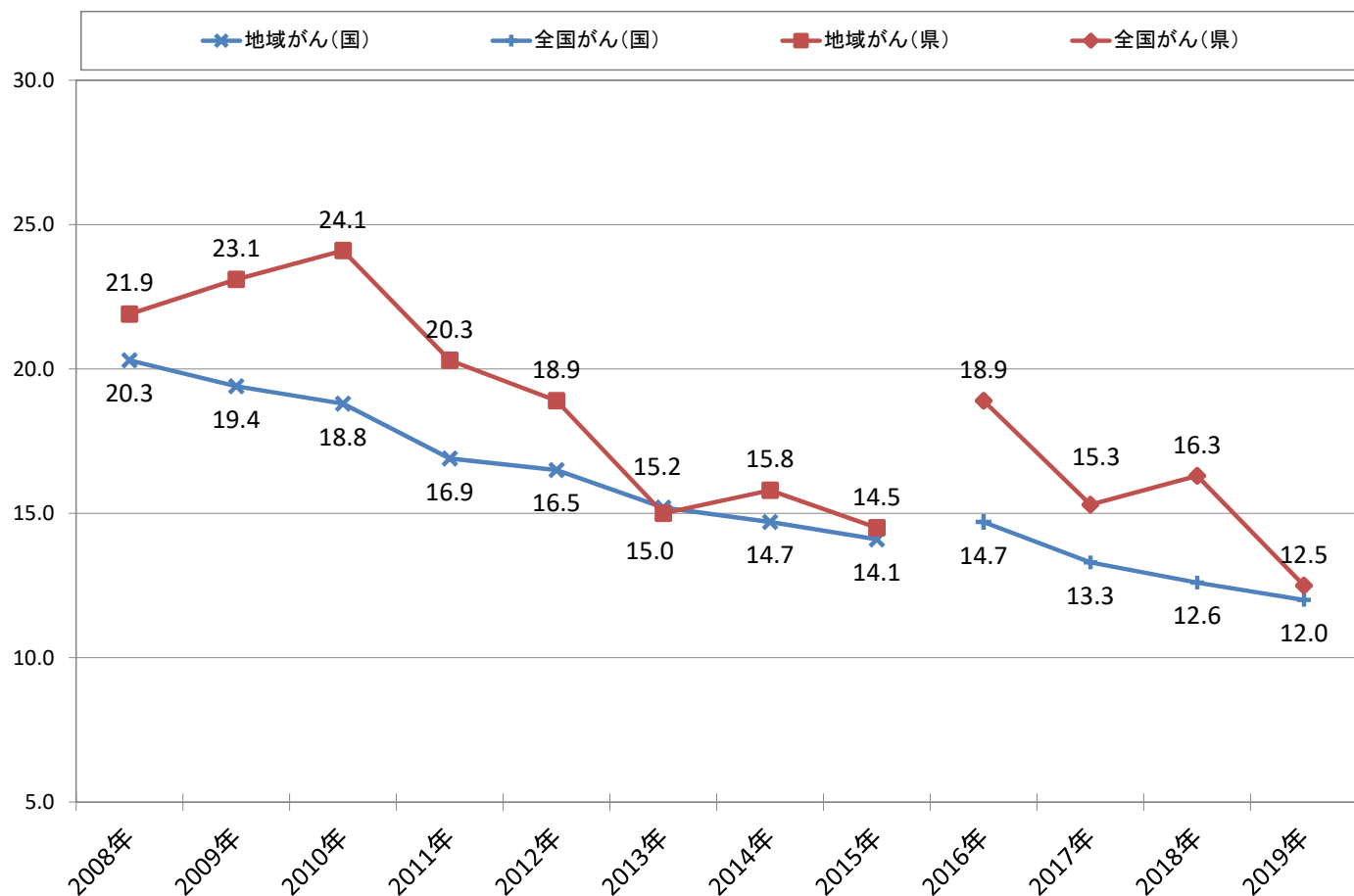
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

年齢調整罹患率 大腸（男女計） （人口10万対）



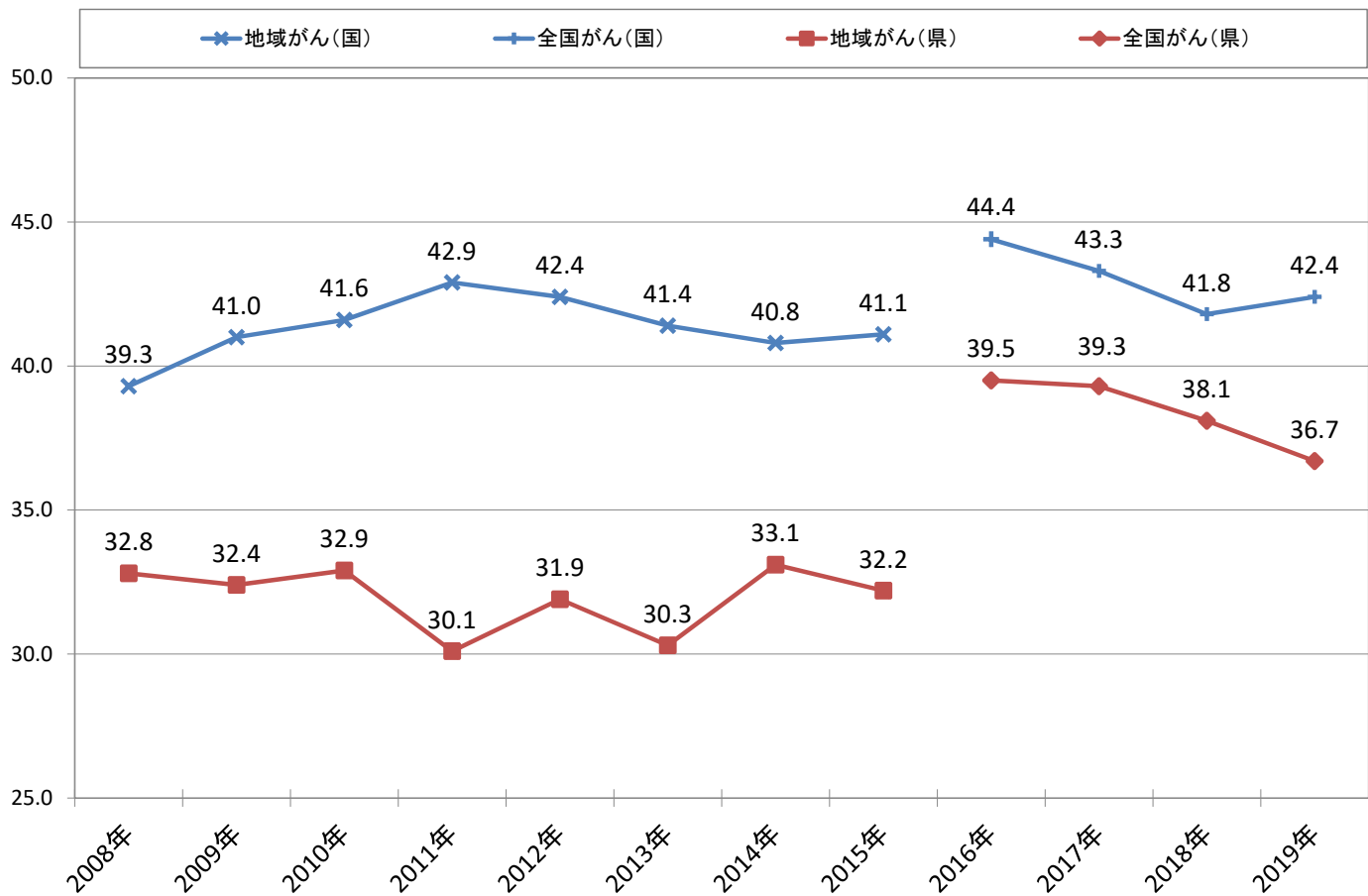
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

年齢調整罹患率 肝（男女計） （人口10万対）



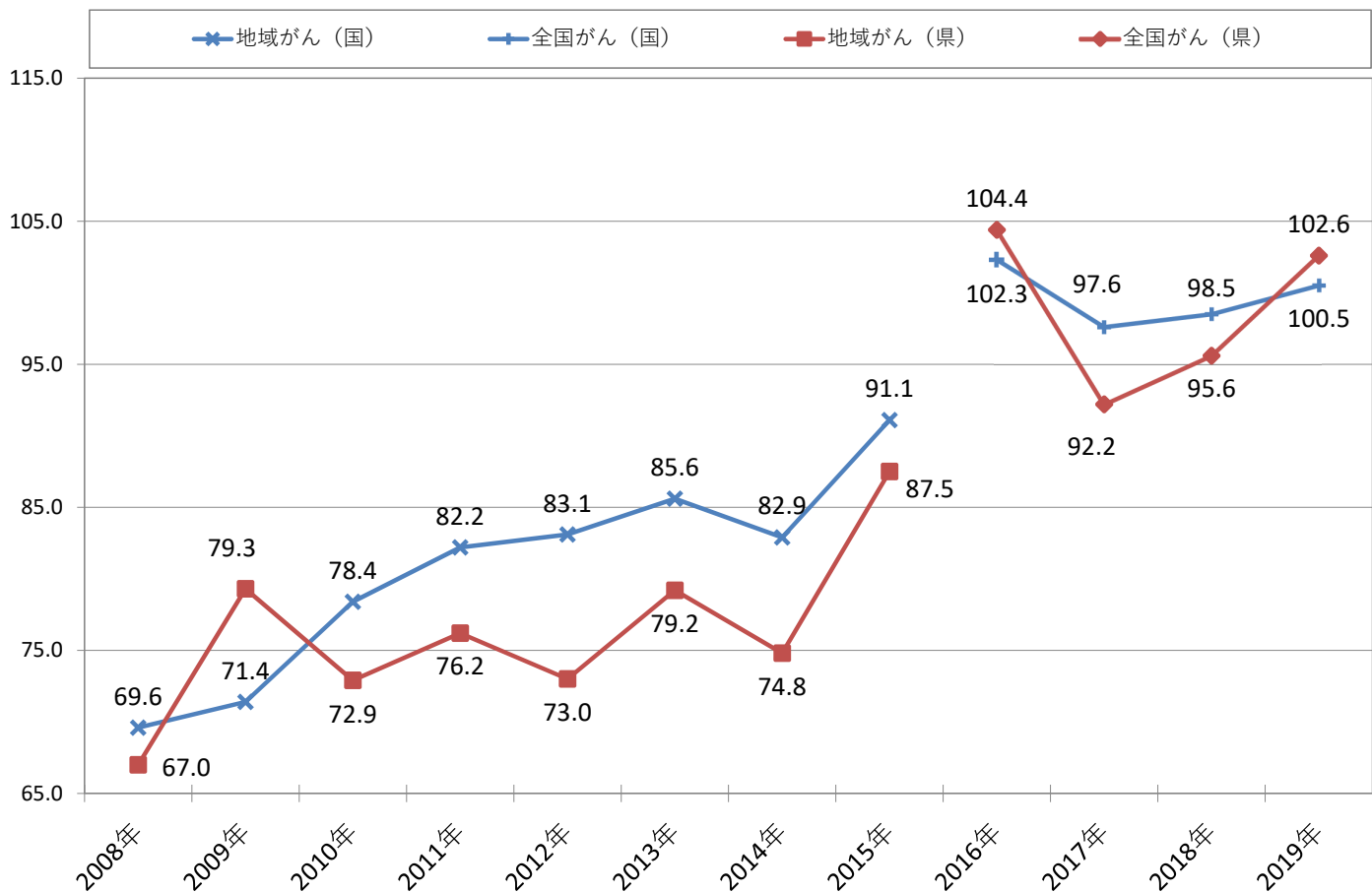
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

年齢調整罹患率 肺（男女計）（人口10万対）



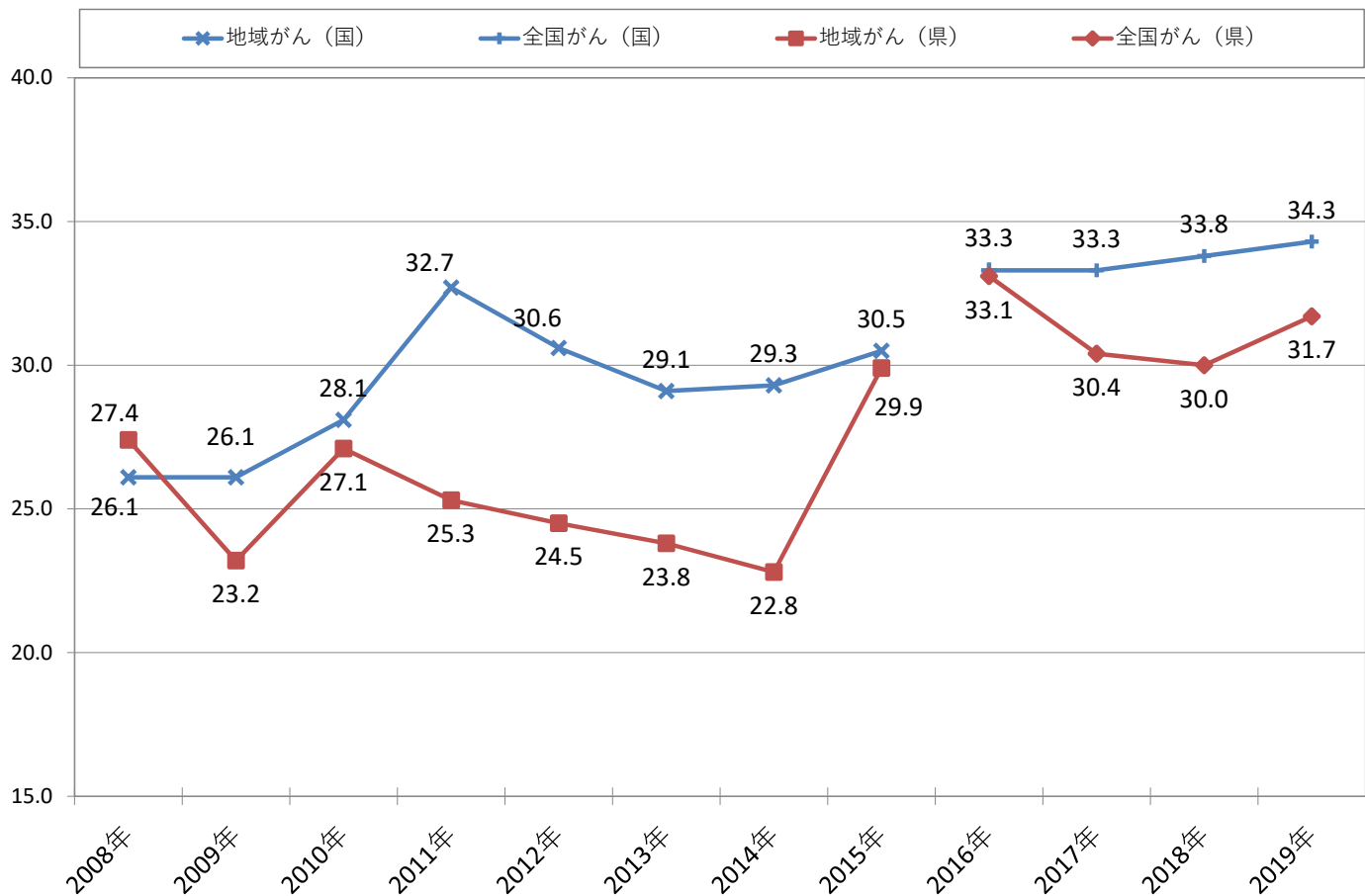
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

年齢調整罹患率 乳房（女性）（人口10万対）



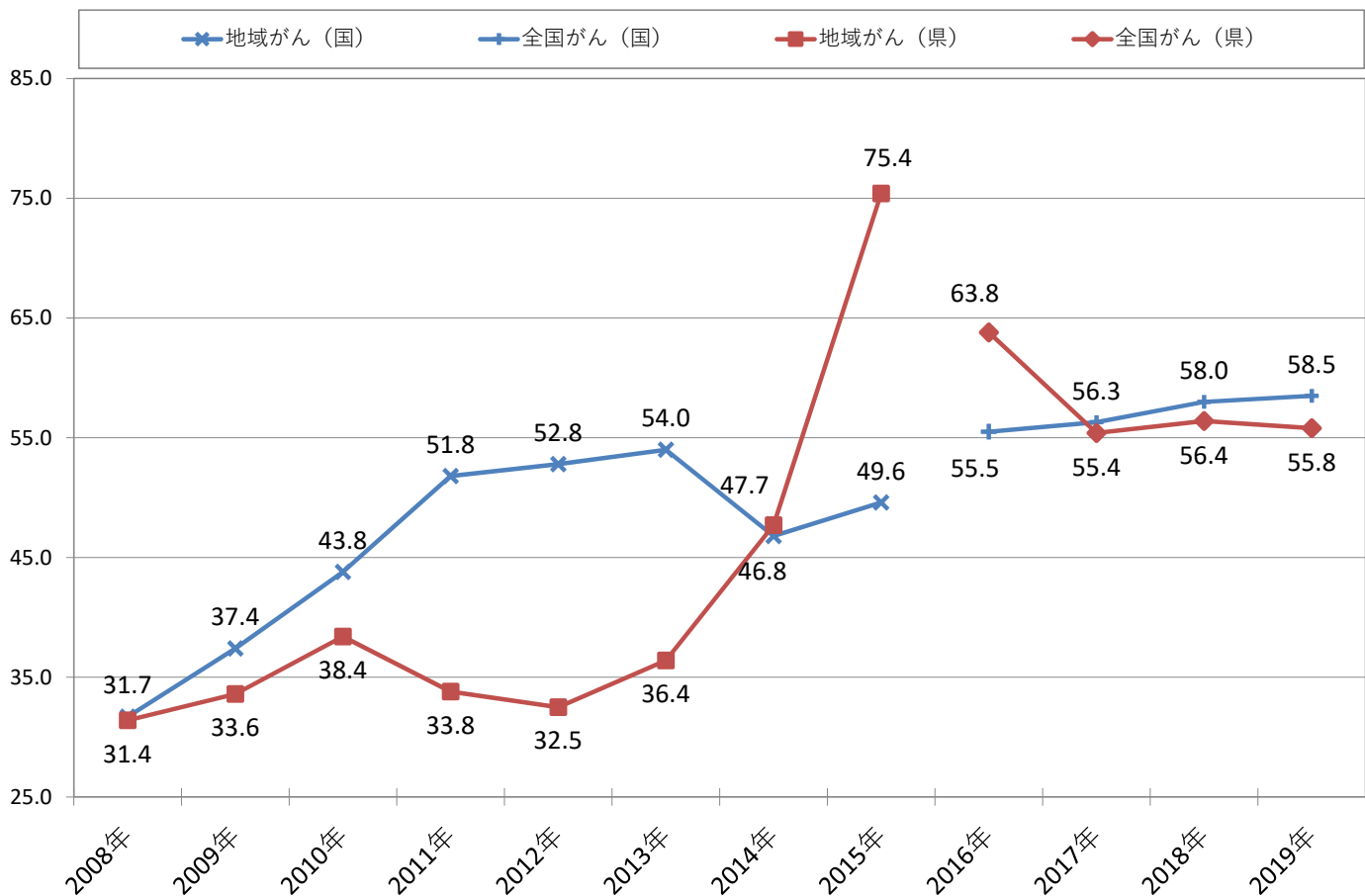
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

年齢調整罹患率 子宮（女性）（人口10万対）



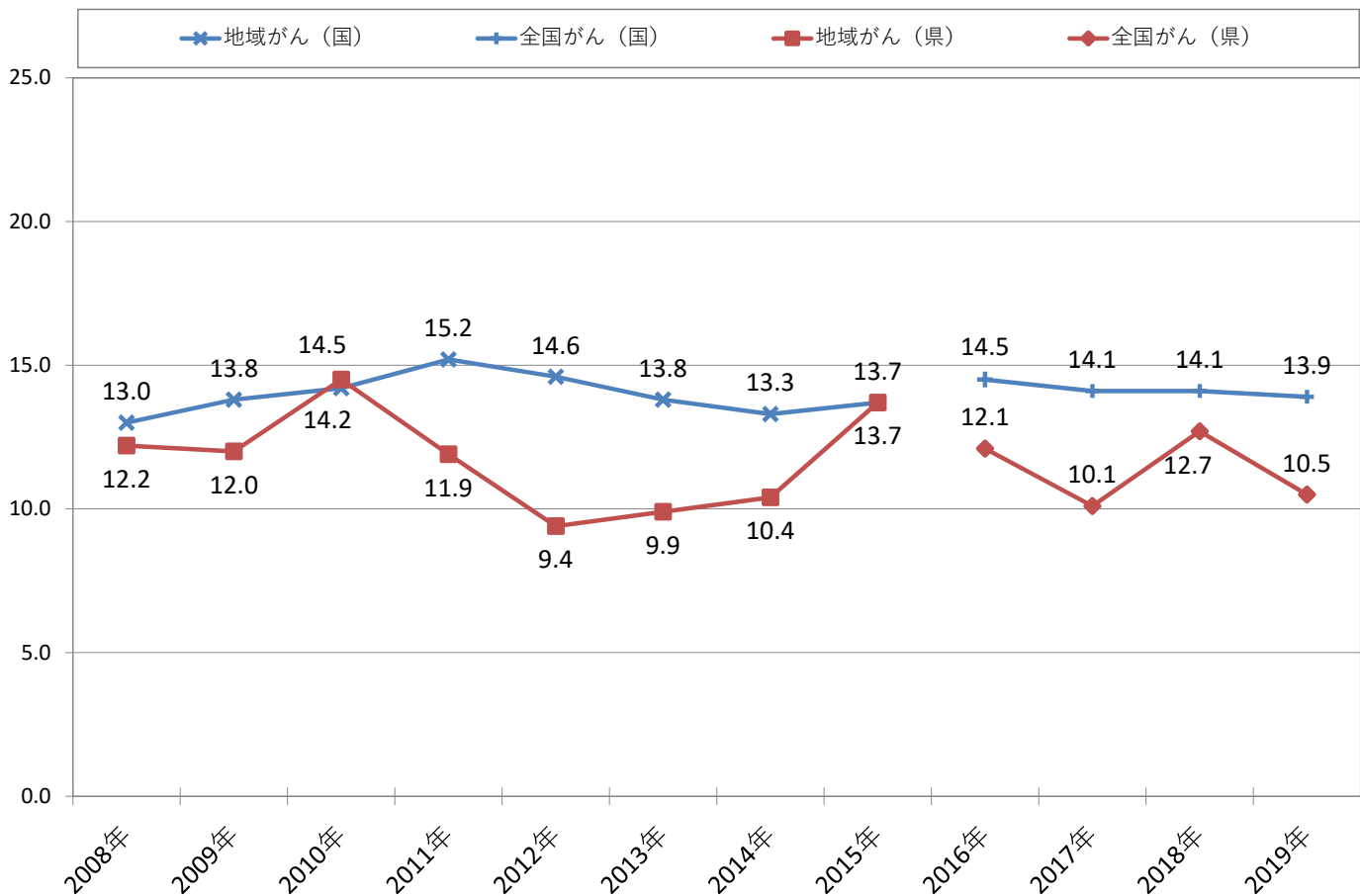
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

年齢調整罹患率 子宮頸部（上皮内がん含む）（女性）（人口10万対）



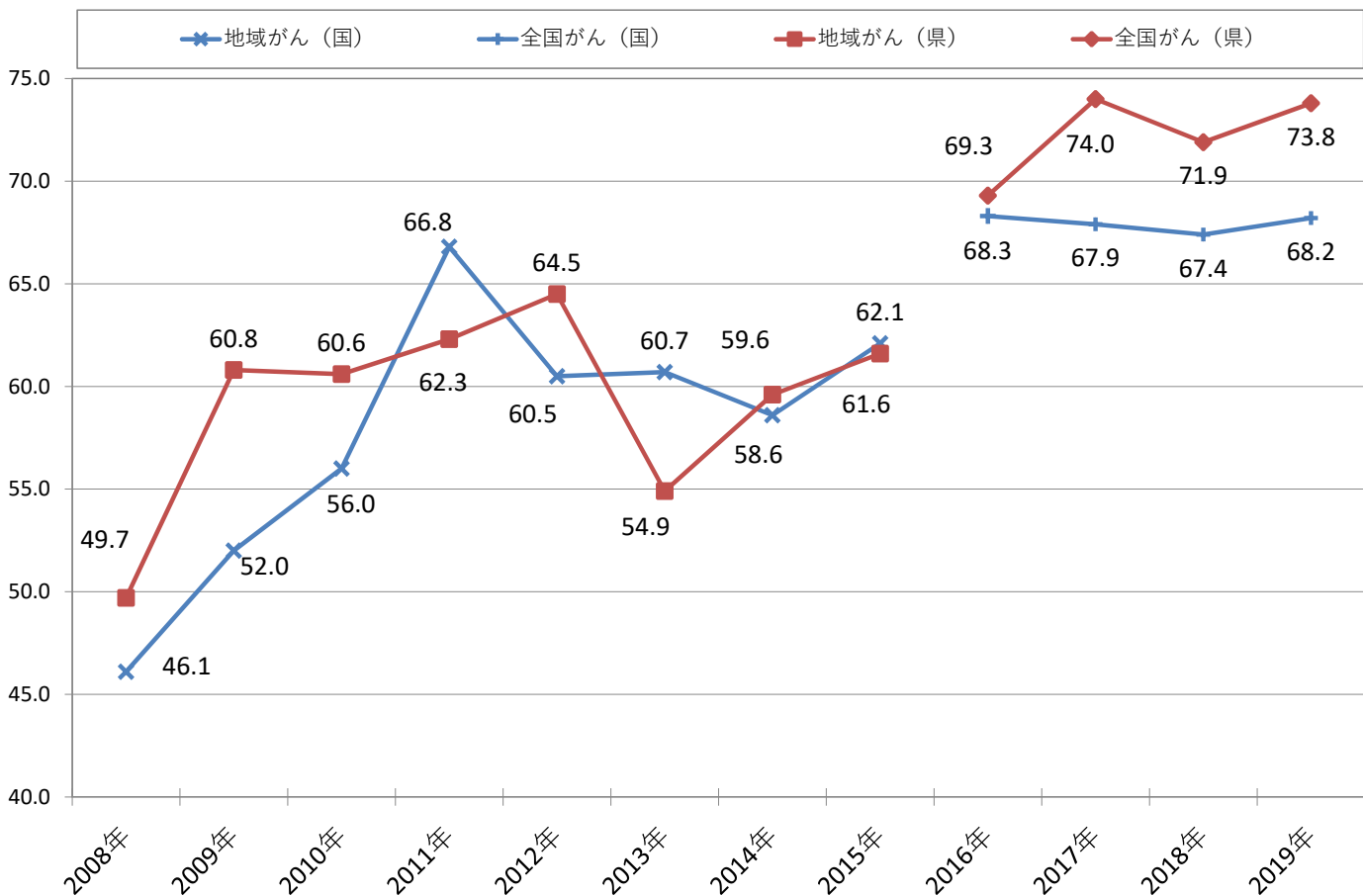
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

年齢調整罹患率 子宮頸部（女性） （人口10万対）



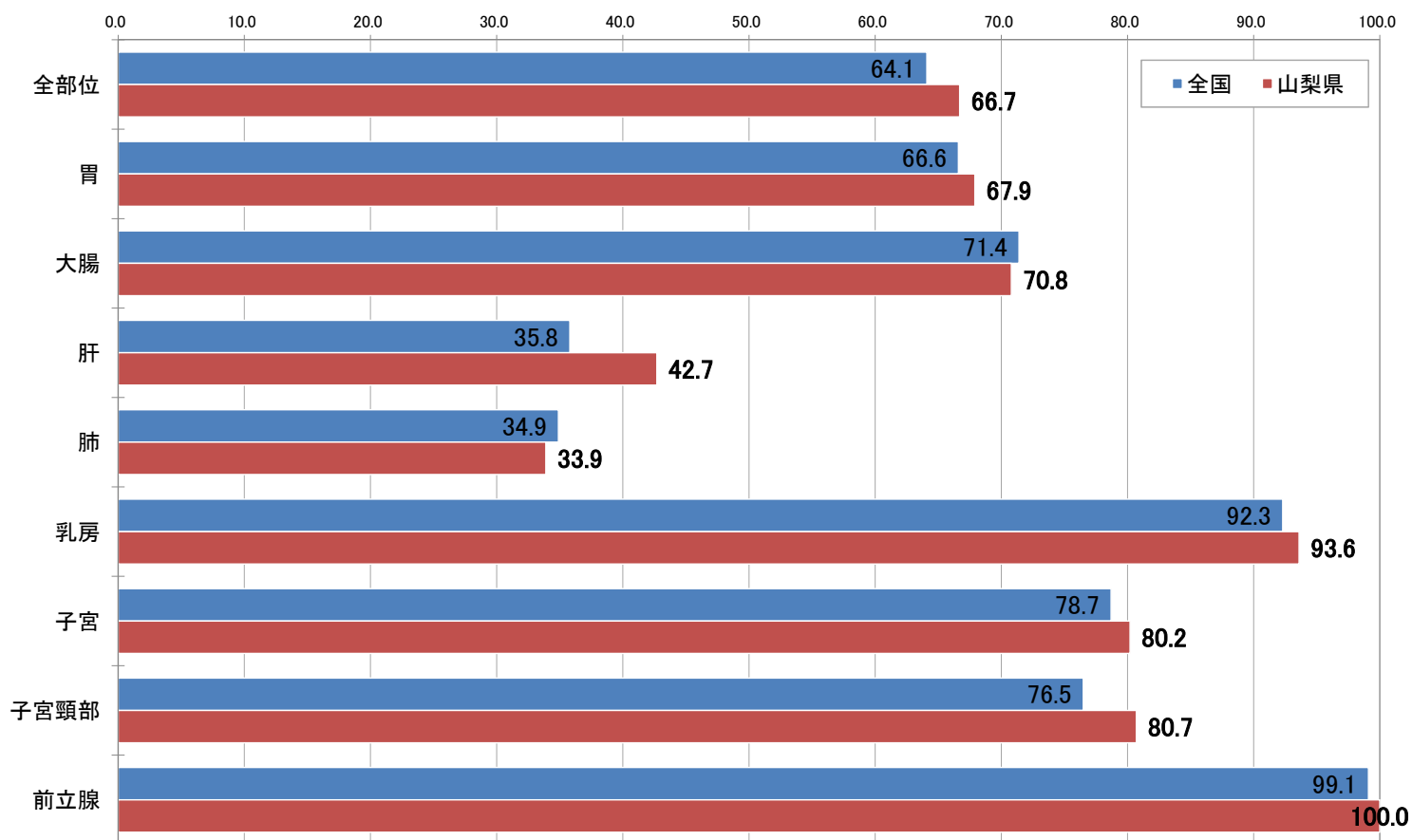
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

年齢調整罹患率 前立腺（男性） （人口10万対）



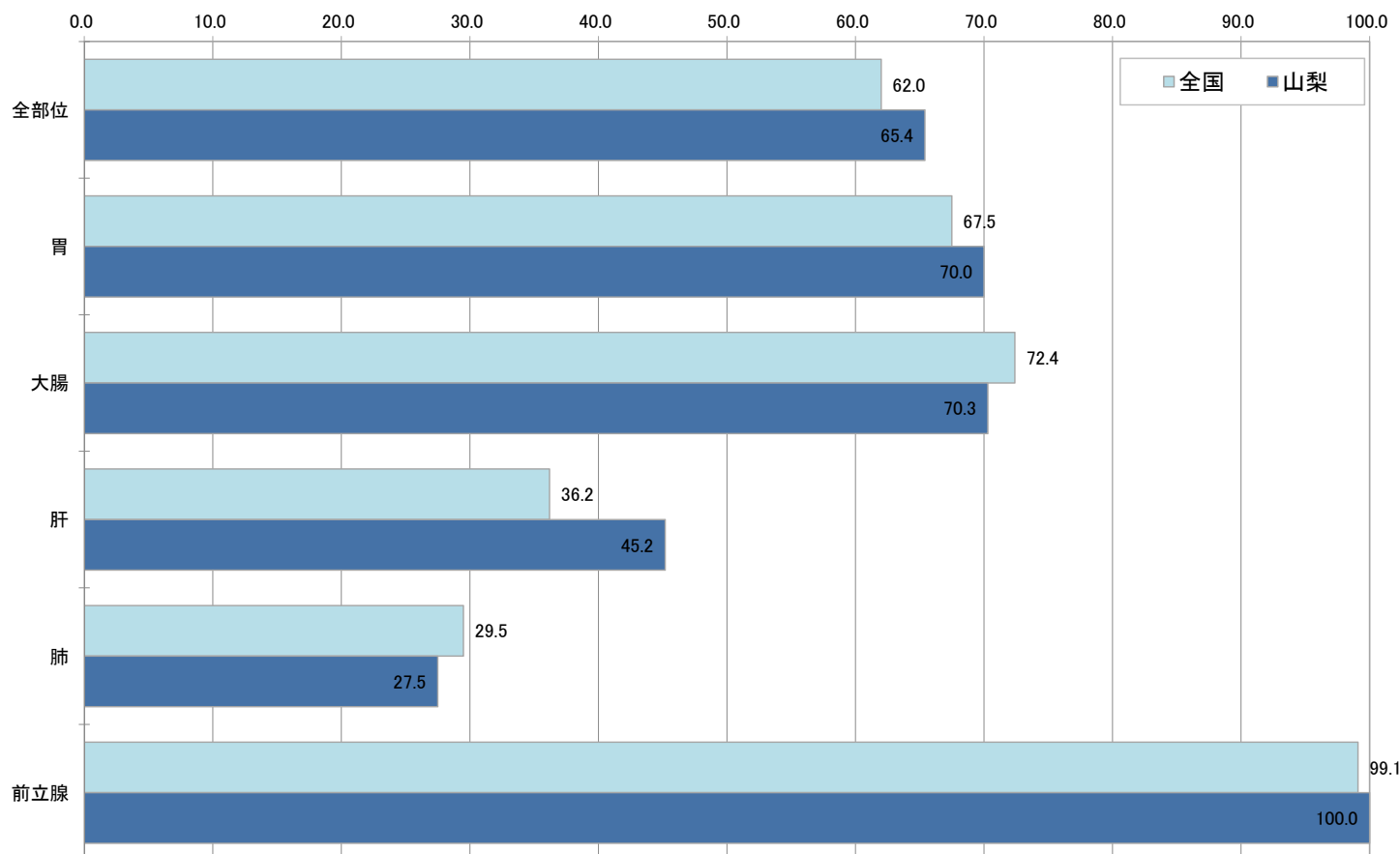
出典：国立がん研究センターがん情報サービス

部位別5年相対生存率の全国との比較 (%)



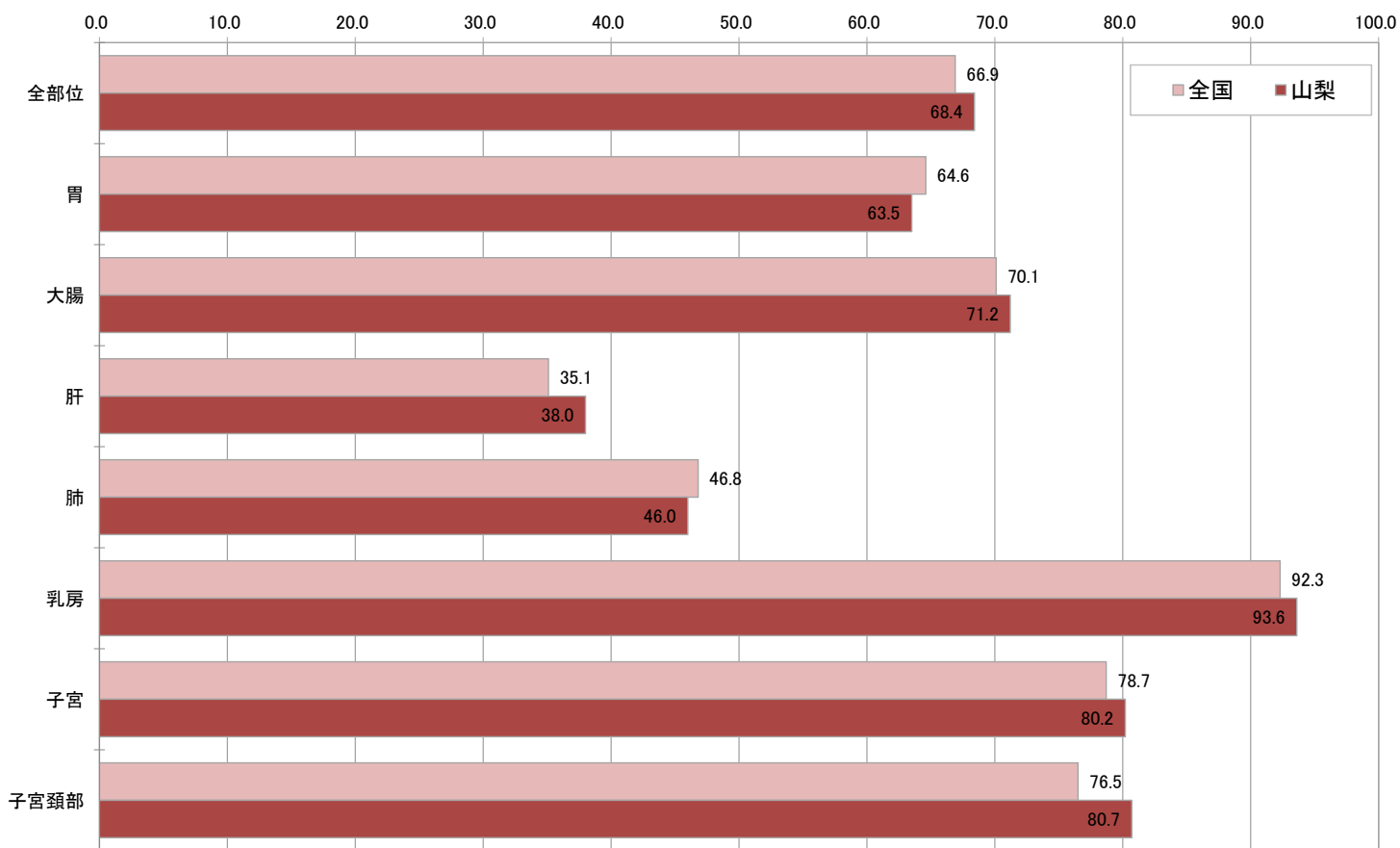
出典：全国がん罹患モニタリング集計2009～2011年生存率報告 (MCIJ-S)

5年相対生存率 (男性) (%)



出典：全国がん罹患モニタリング集計2009～2011年生存率報告 (MCIJ-S)

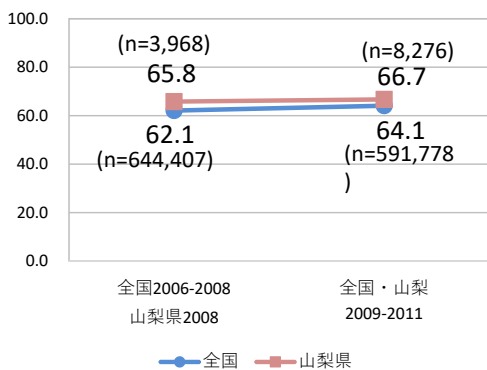
5年相対生存率（女性） (%)



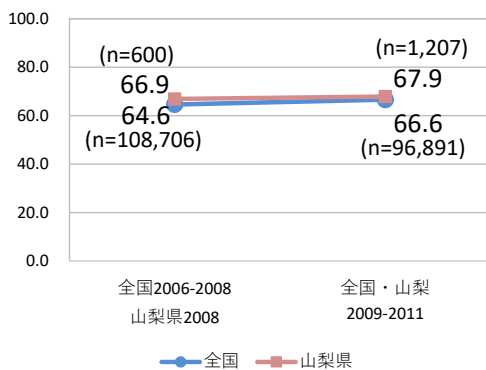
出典：全国がん罹患モニタリング集計2009～2011年生存率報告 (MCIJ-S)

部位別5年相対生存率の推移（男女計） (%)

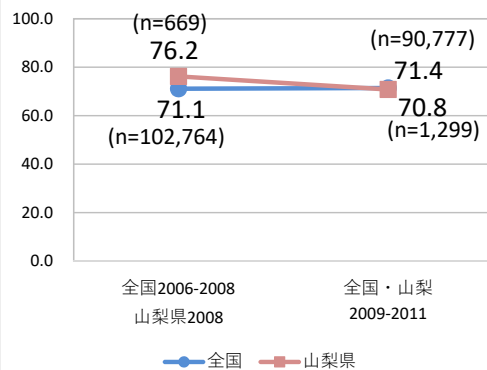
全部位



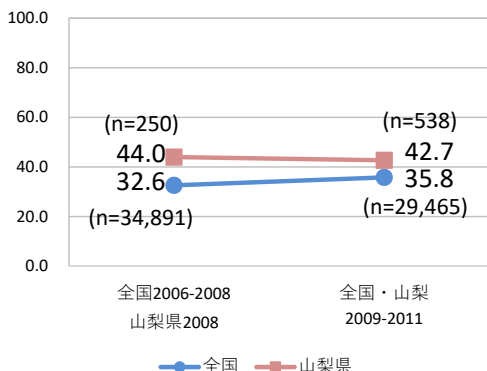
胃



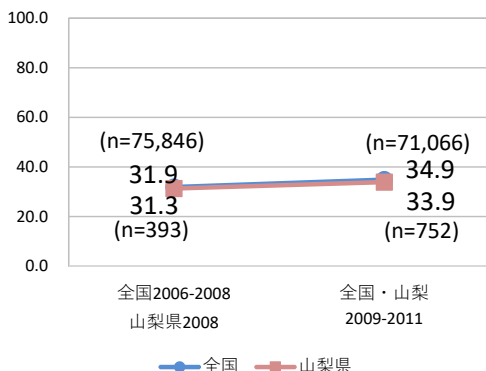
大腸



肝



肺

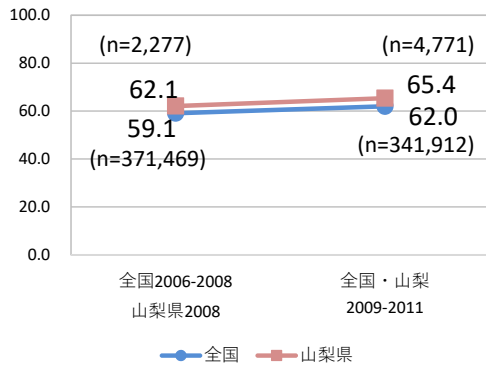


出典：全国がん罹患モニタリング集計2009～2011年生存率報告 (MCIJ-S)

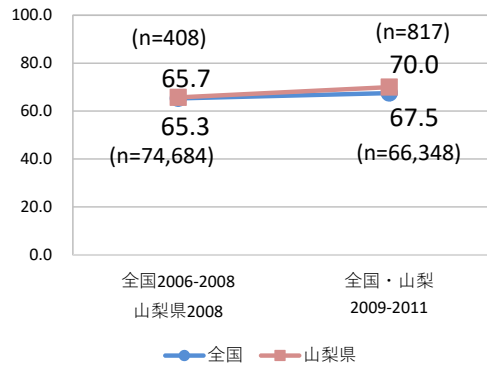
部位別5年相対生存率の推移（男性）

(%)

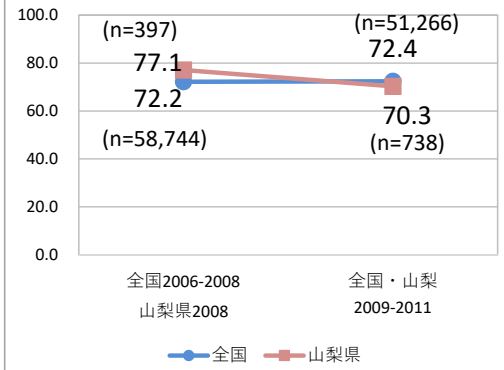
全部位



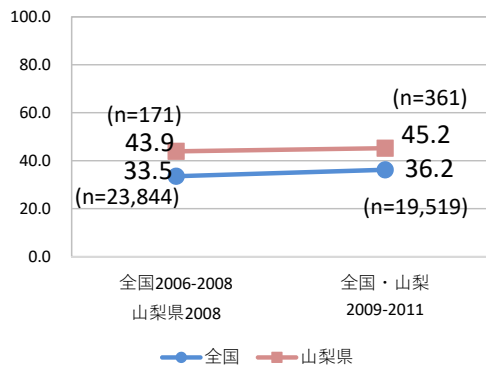
胃



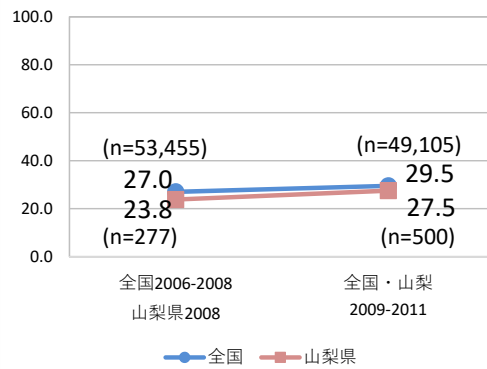
大腸



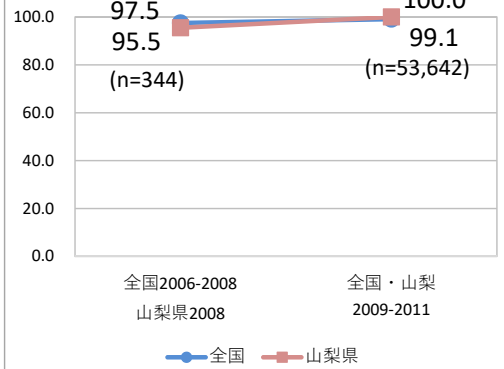
肝



肺



前立腺

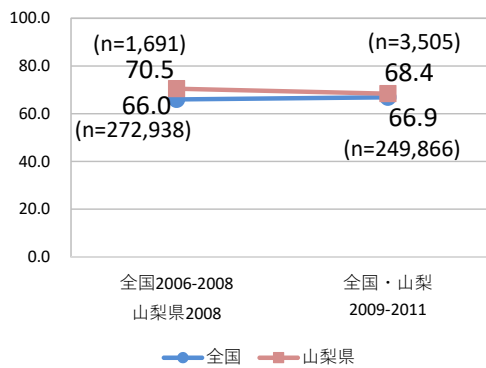


出典：全国がん罹患モニタリング集計2009～2011年生存率報告（MCIJ-S）

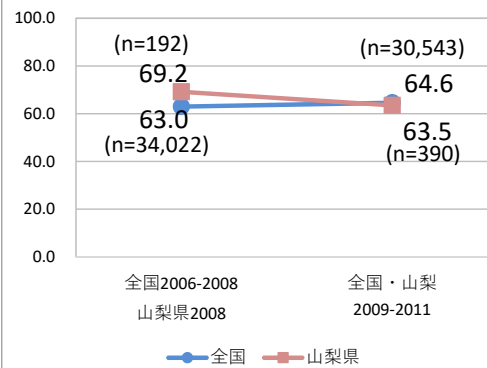
部位別5年相対生存率の推移（女性）

(%)

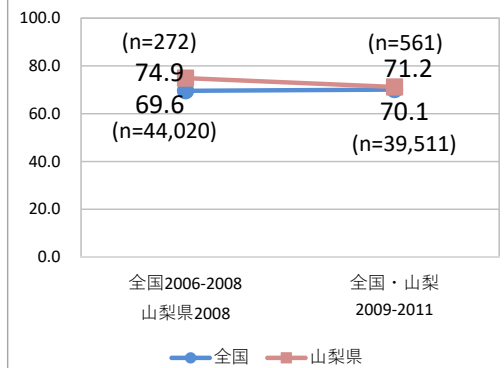
全部位



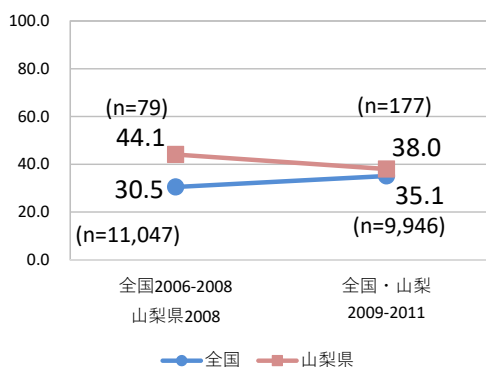
胃



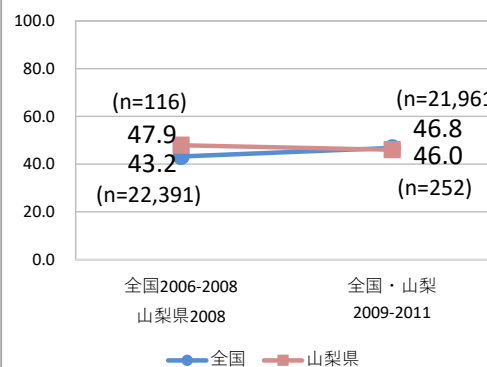
大腸



肝



肺

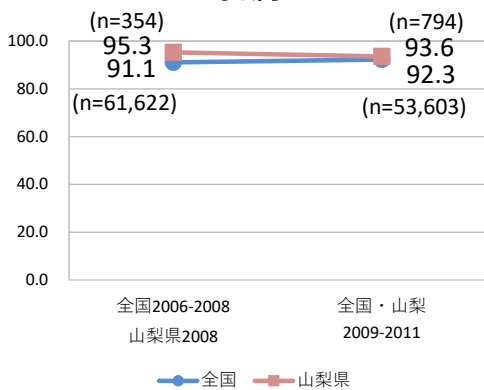


出典：全国がん罹患モニタリング集計2009～2011年生存率報告（MCIJ-S）

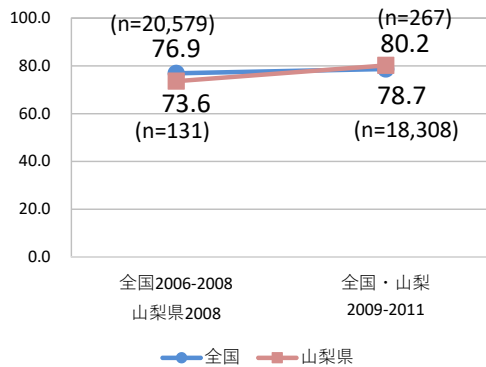
部位別5年相対生存率の推移（女性）

(%)

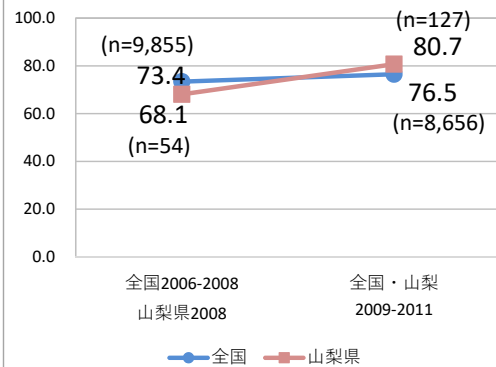
乳房



子宮

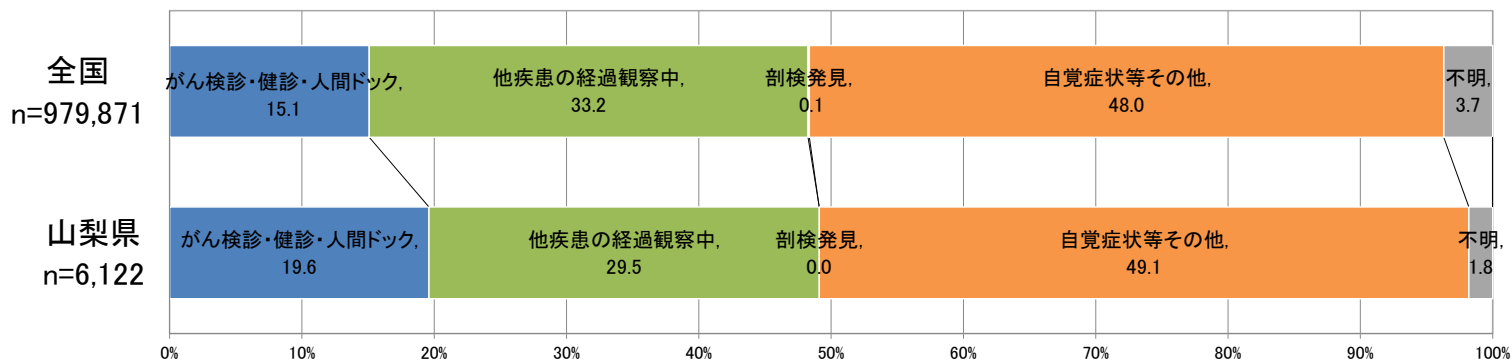


子宮頸部

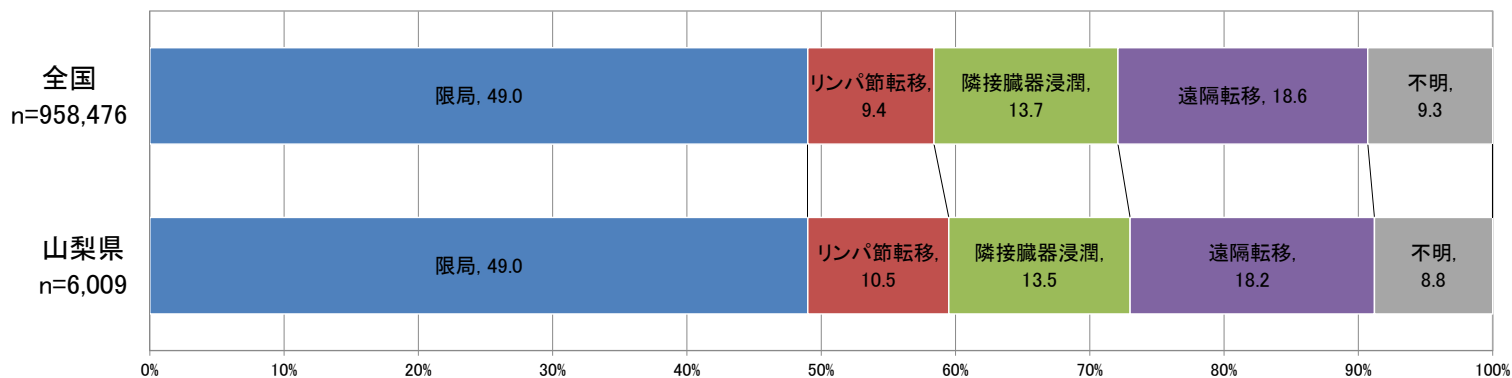


がんの発見経緯と進展度の全国との比較（2019年全部位）(%)

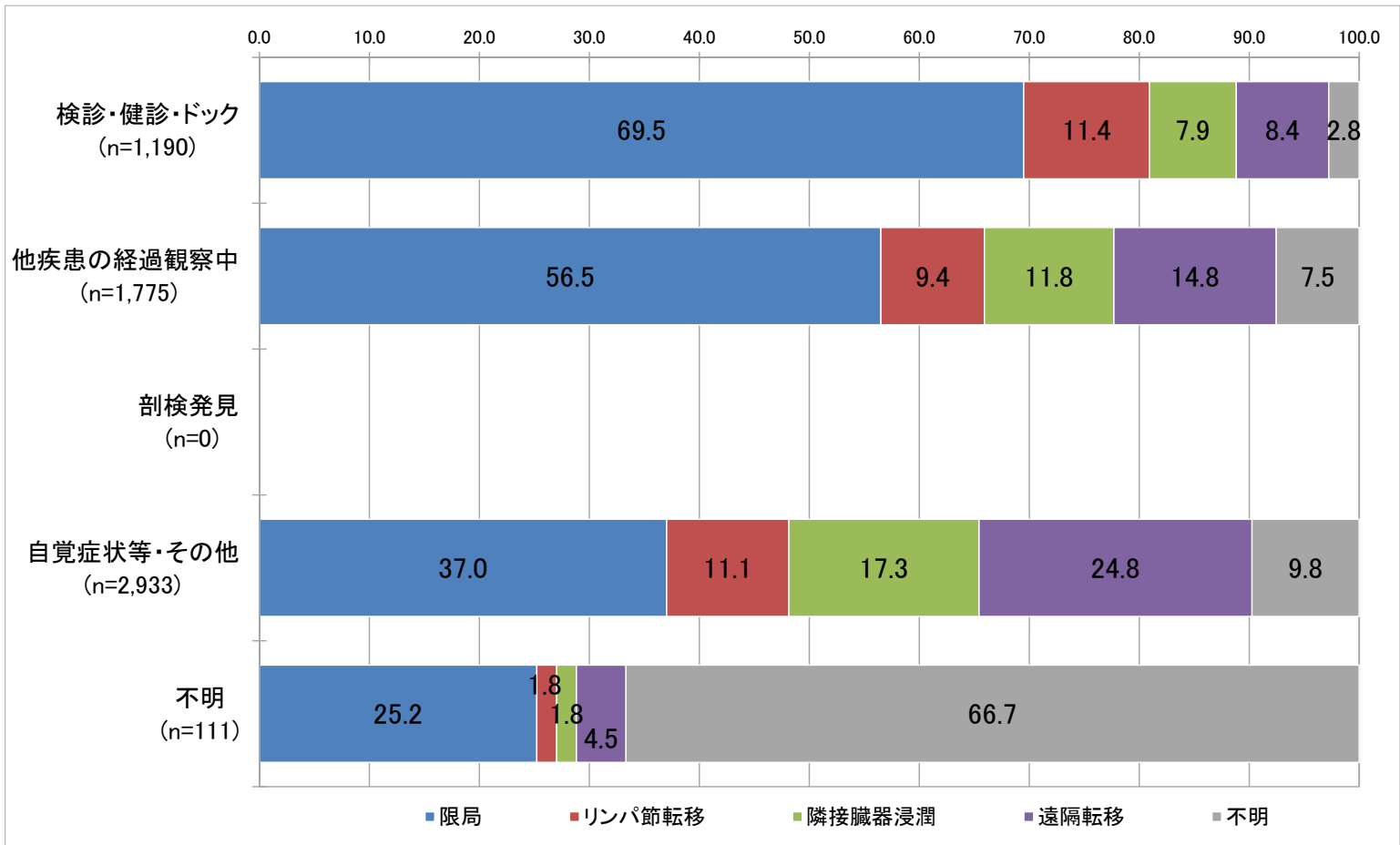
発見経緯



進行度



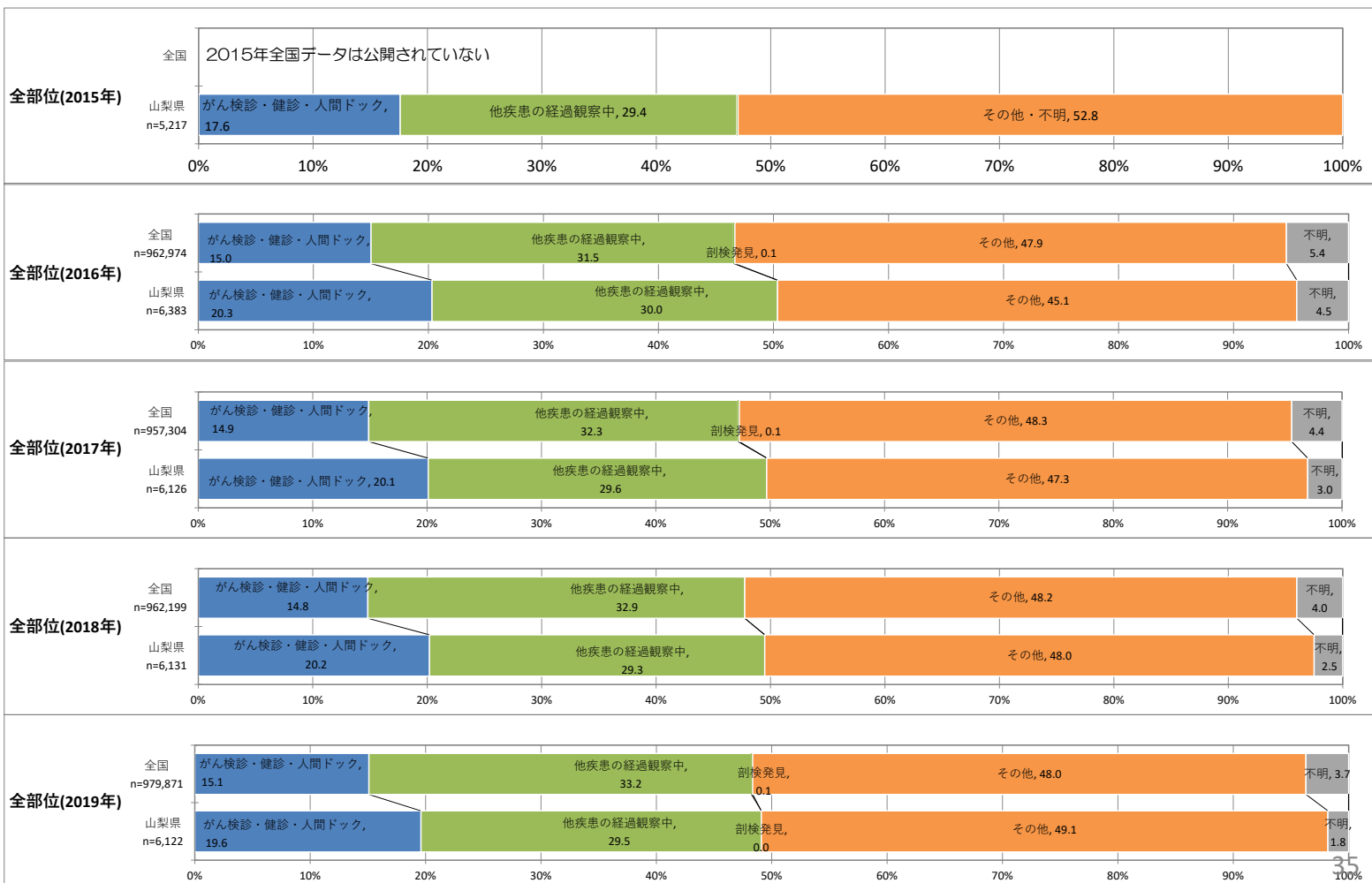
がんの発見経緯別の進展度 (2019年全部位) (%)



出典：全国がん登録山梨県研究利用目的データから抽出分析 34

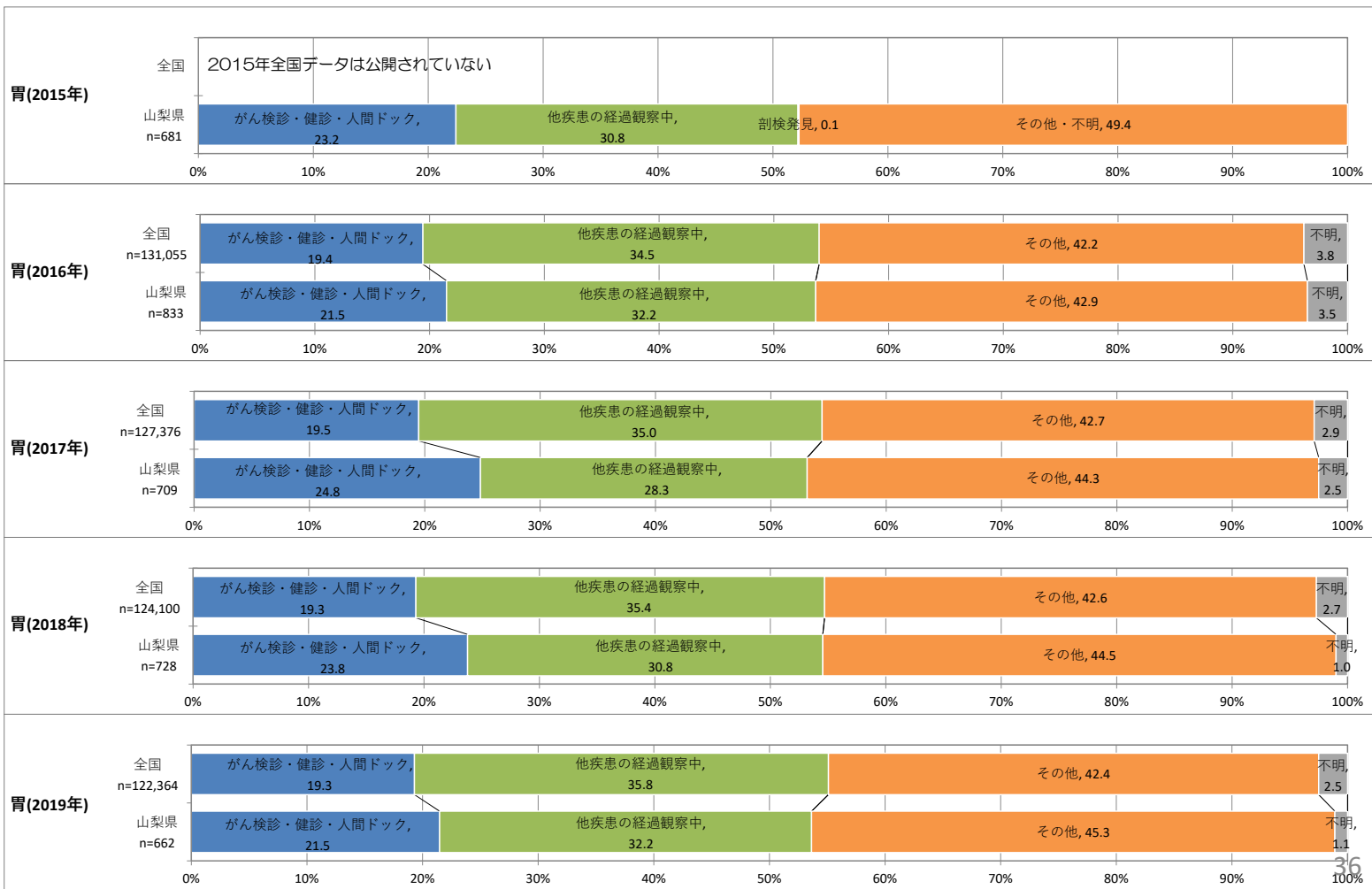
発見経緯の年次推移 (全部位)

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



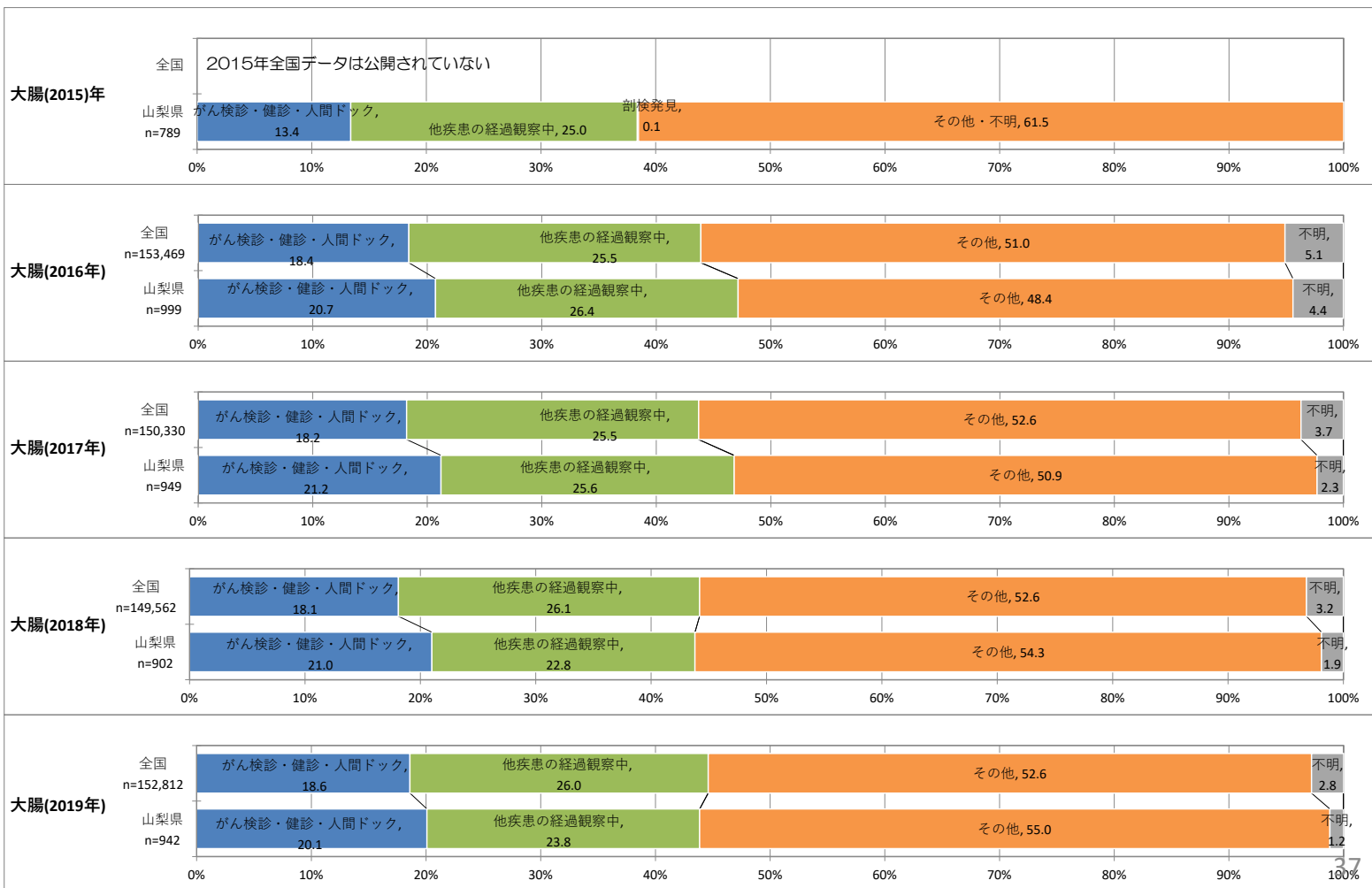
発見経緯の年次推移（胃）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



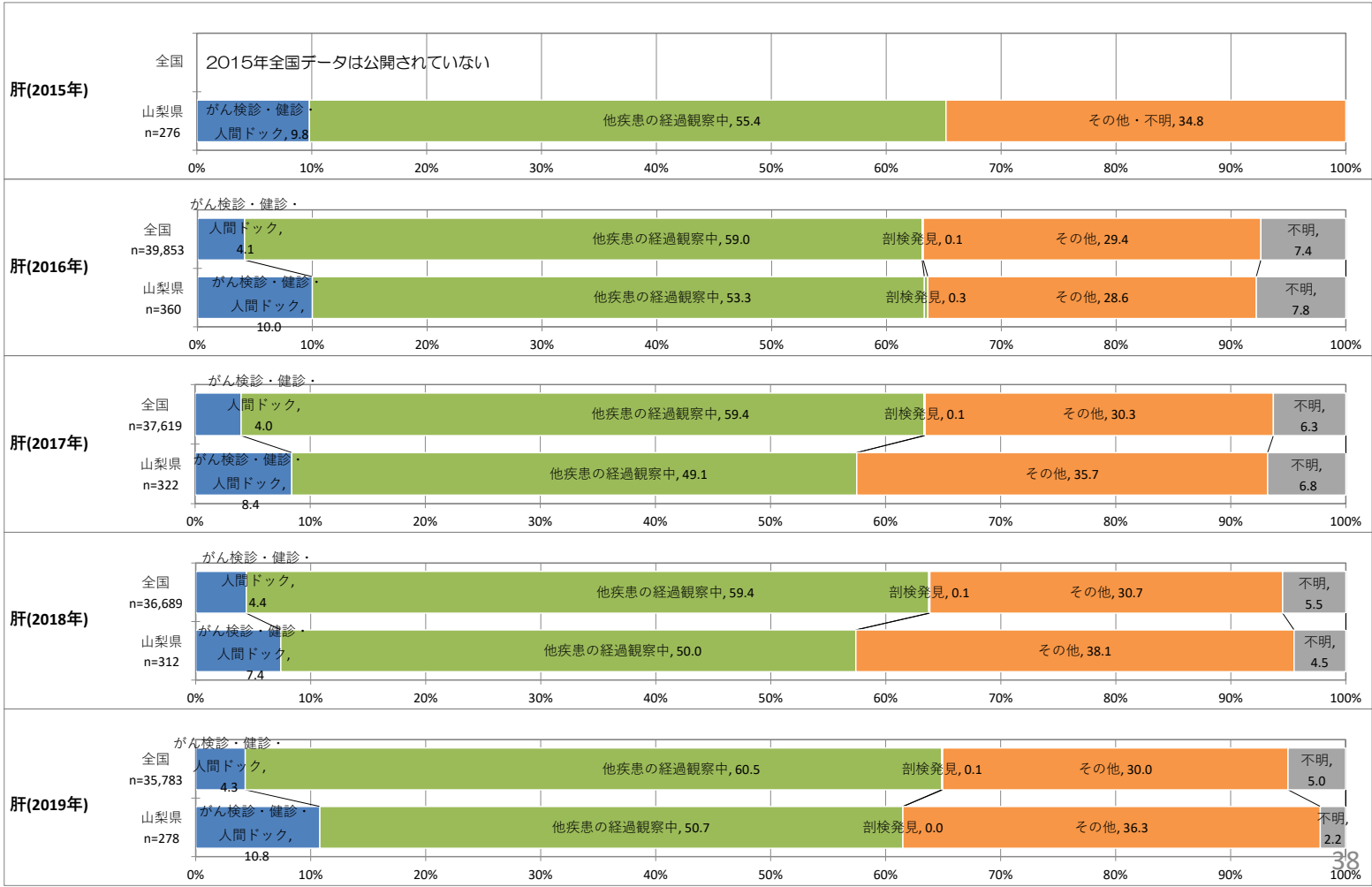
発見経緯の年次推移（大腸）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



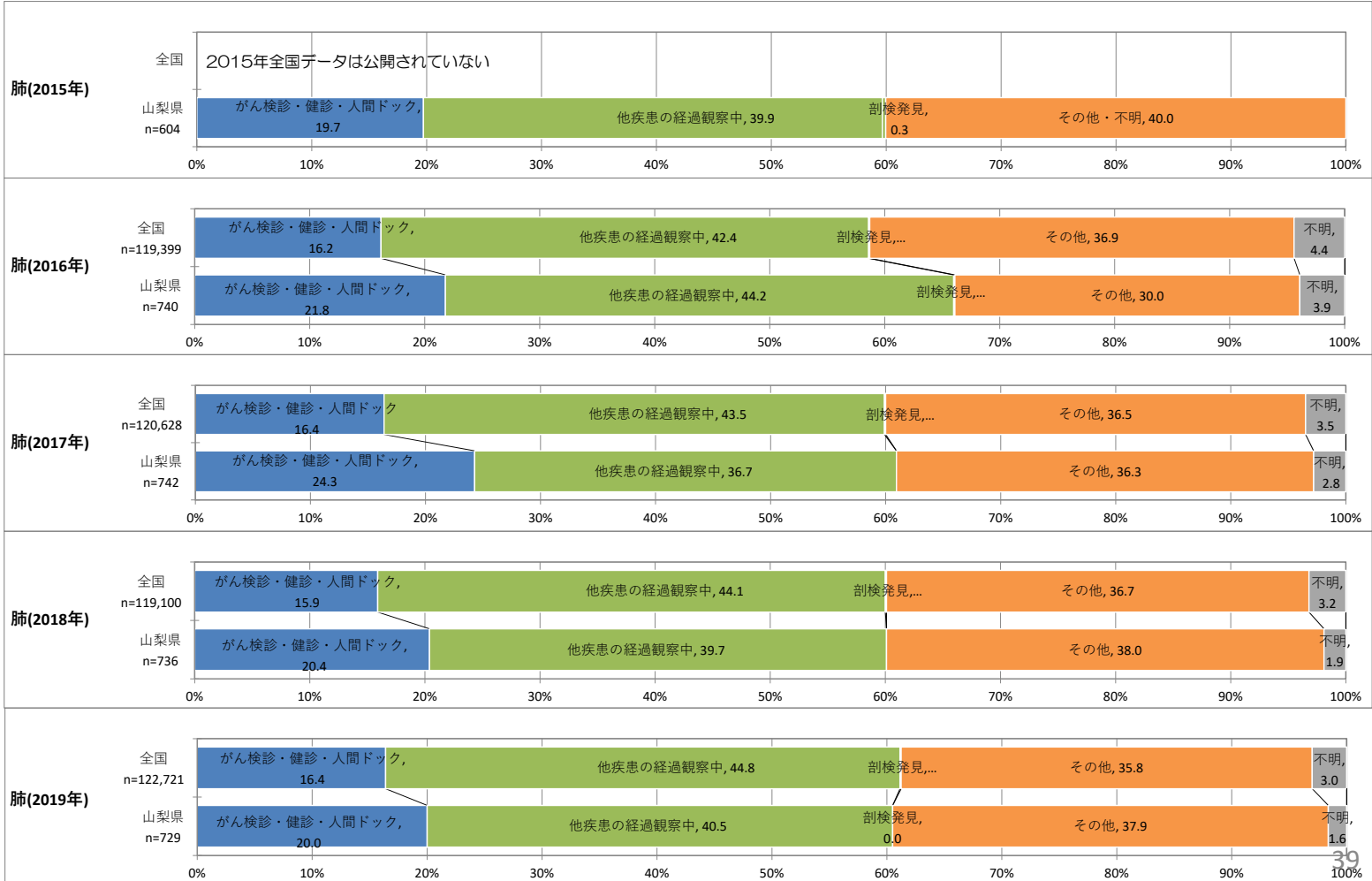
発見経緯の年次推移（肝）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



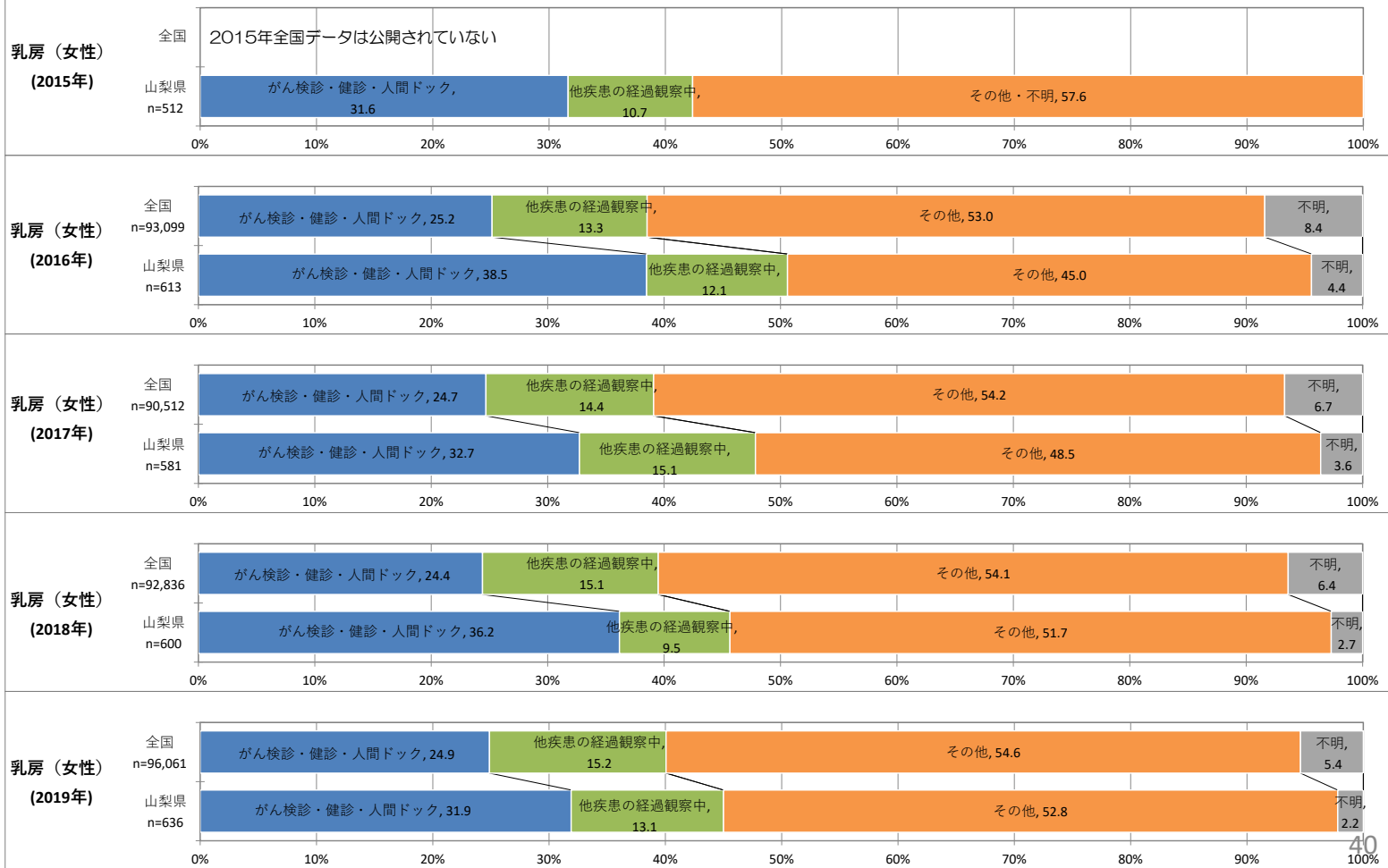
発見経緯の年次推移（肺）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



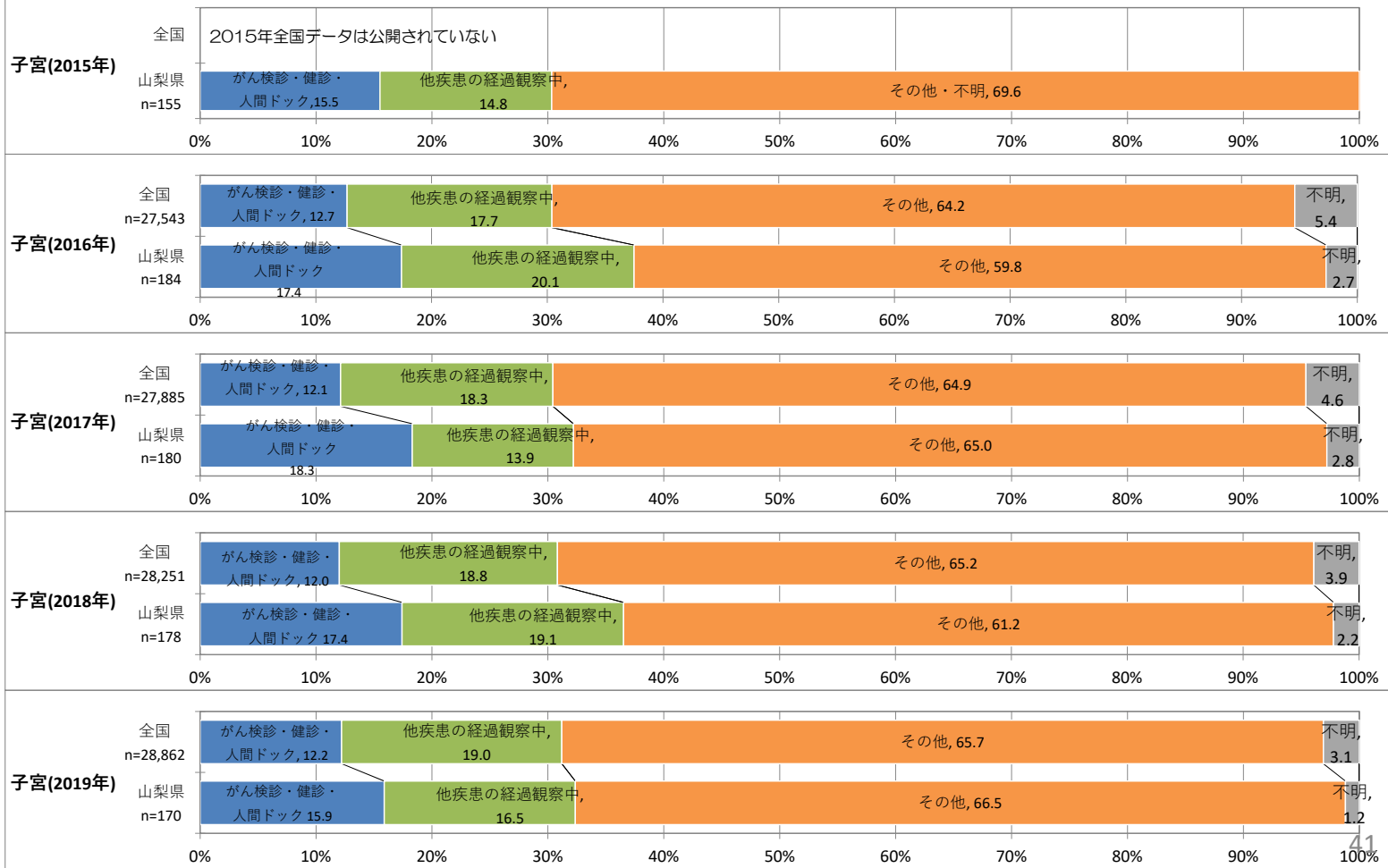
発見経緯の年次推移（乳房（女性））

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



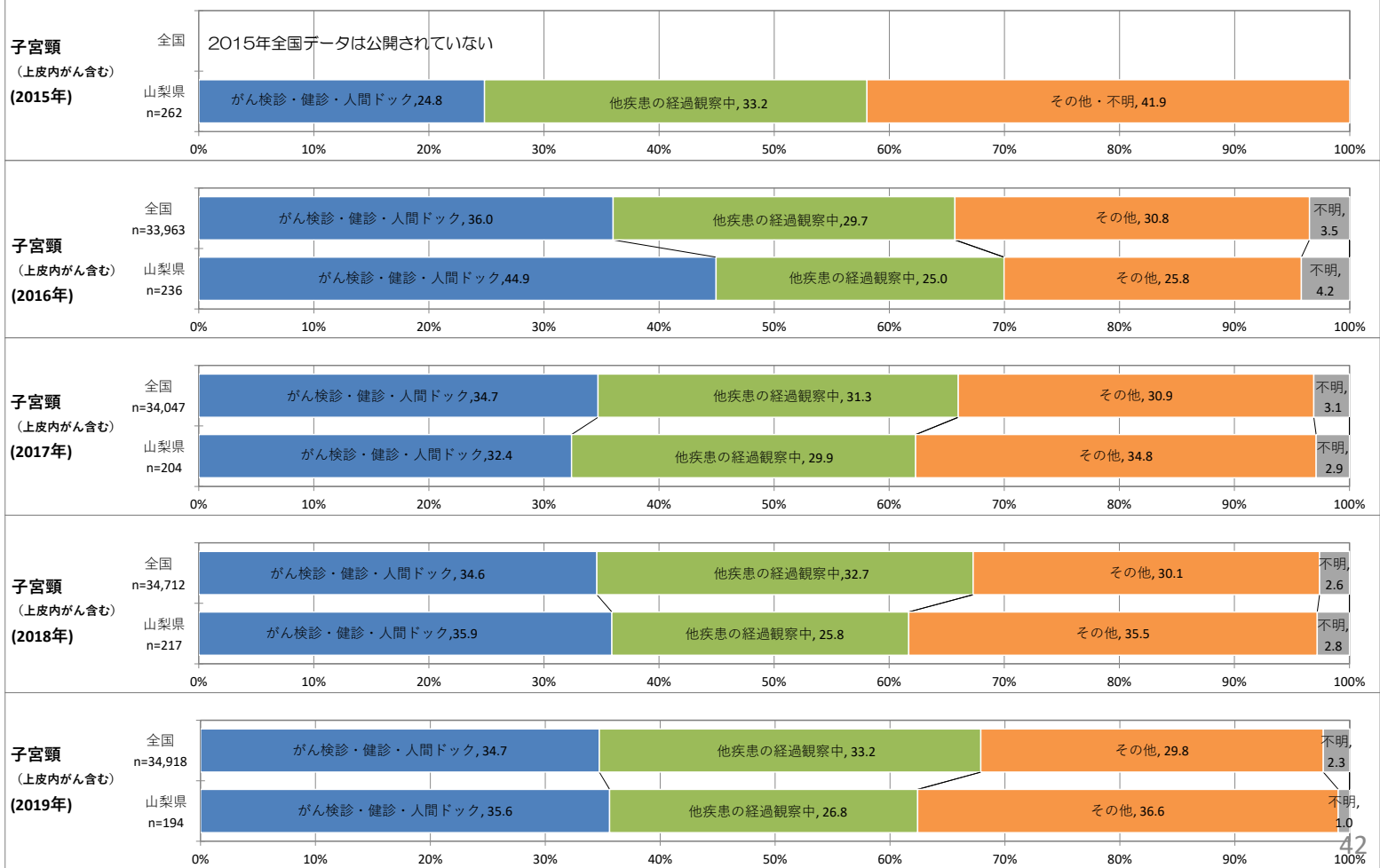
発見経緯の年次推移（子宮）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



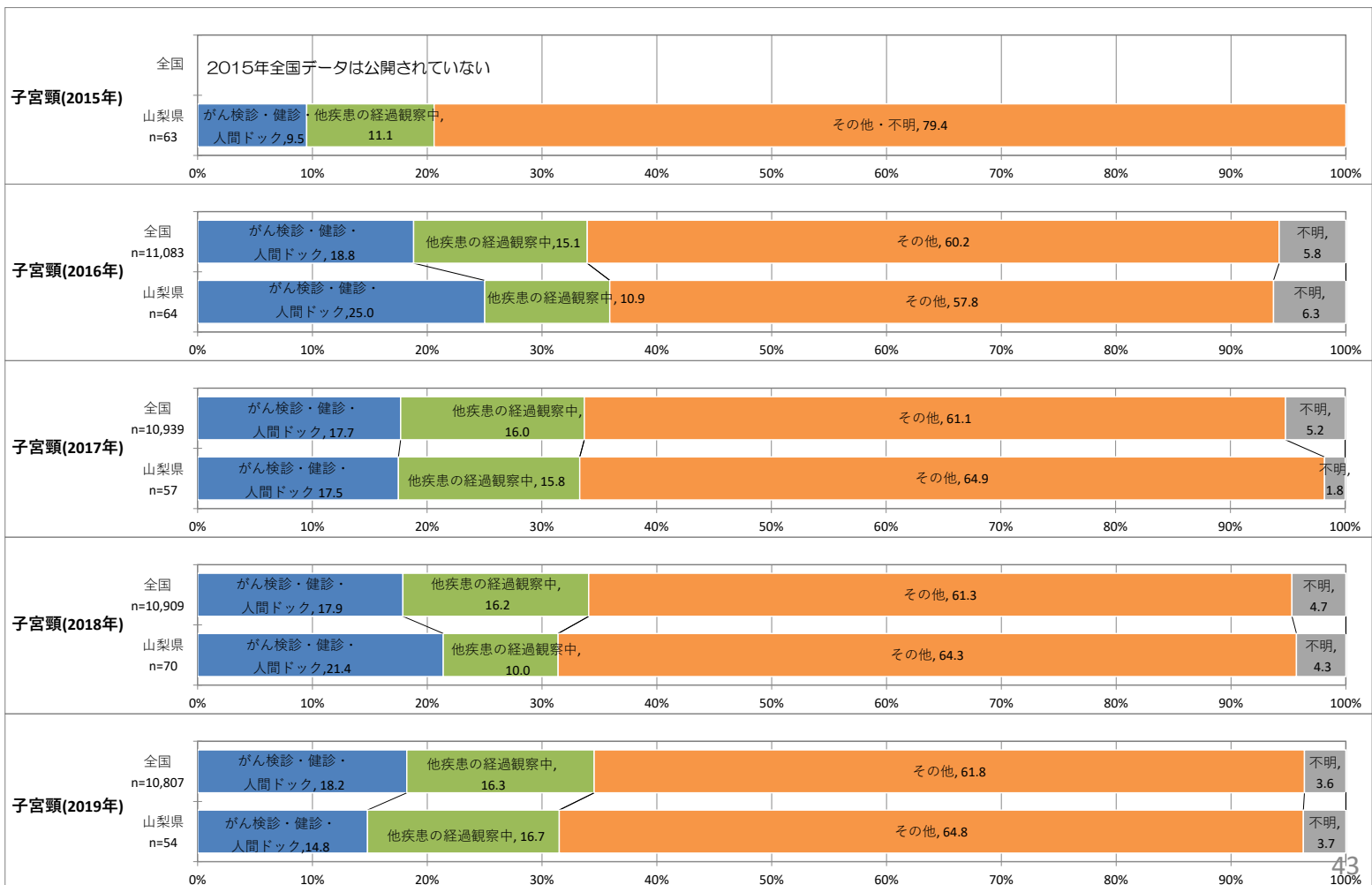
発見経緯の年次推移（子宮頸（上皮内がん含む））

出典：国立がん研究センター
がん情報サービス



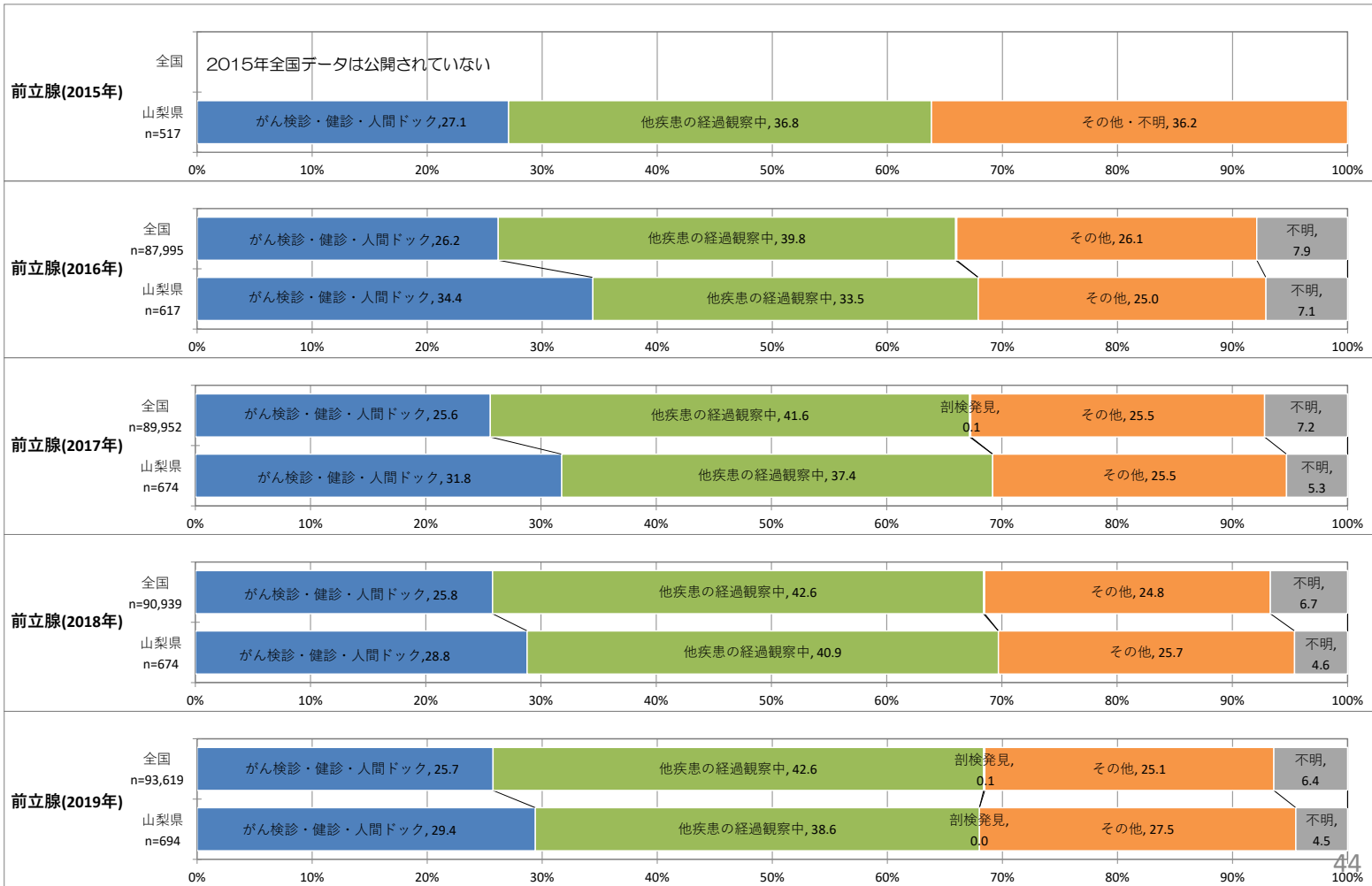
発見経緯の年次推移（子宮頸部）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス

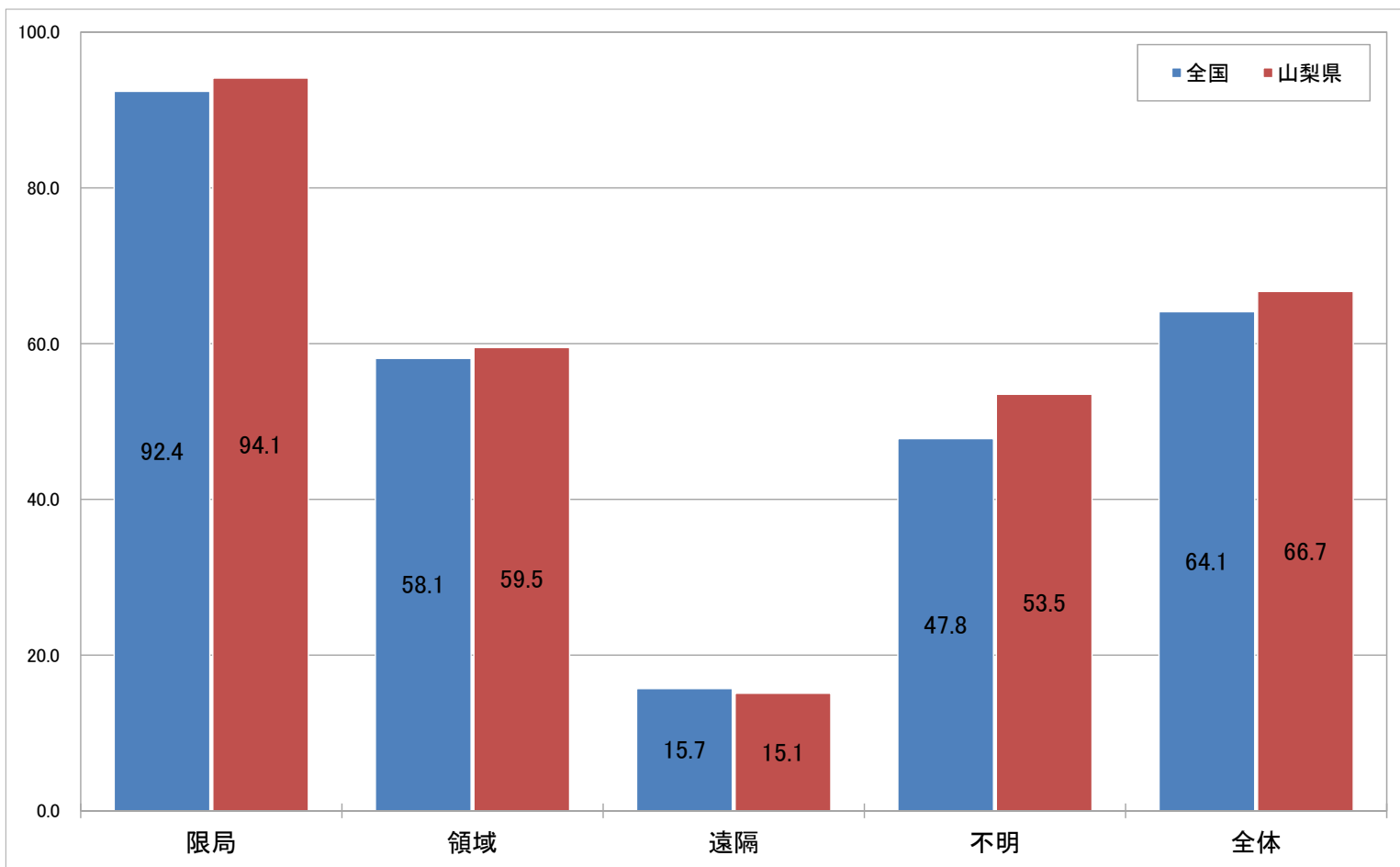


発見経緯の年次推移（前立腺）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



進展度別5年相対生存率の全国との比較 (%)



出典：全国がん罹患モニタリング集計2009～2011年生存率報告 (MCJ-U)

がん検診受診率と精密検査受診率の全国との比較

○ **がん検診受診率** 40～69歳, *1胃50～69歳, *2子宮頸部20～69歳

過去1年				過去2年		
		大腸			乳房	子宮頸部*2
	42.9	44.2	49.4	49.5	47.4	43.7
	51.3	53.9	61.2	57.9	58.6	49.8
都道府県順位	5位	2位	3位		3位	3位

出典：令和元年国民生活基礎調査

○ **精密検査受診率** 40～74歳, *3胃50～74歳, *4子宮頸部20～74歳

	(エックス線)	大腸		乳房	子宮頸部*4	
	82.2	92.9	71.4	83.8	89.2	75.5
山梨県(%)	83.4	44.6	68.9	80.5	86.1	67.8
都道府県順位						

*5報告45都道府県

出典：平成30年度(2018)がん検診のプロセス指標
(R元年度地域保健・健康増進事業報告)

○ **市町村用チェックリスト実施率**

	(エックス線)	大腸		乳房	子宮頸部
都道府県順位					

*6実施19都道府県

出典：令和3年度(2021)市町村用チェックリスト実施率
(市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査)

がん検診の受診率は、5大がん全てで全国を大きく上回っているが、検診で精密検査が必要とされた方の医療機関受診率(精密検査受診率)は全国に比べて低く、がん検診ががんの早期発見につながっていない可能性がある。